



子どもの健康・生活実態調査

平成27年度 報告書

平成28年4月

足立区・足立区教育委員会

国立成育医療研究センター研究所 社会医学研究部



足立区



国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
National Center for Child Health and Development

目 次

第1章 調査の概要	1
1 報告書について	2
2 調査の背景	2
3 調査の目的	2
4 調査の時期	3
5 実施方法	3
6 調査対象者	3
7 回答者の構成	3
第2章 主な調査結果	5
1 世帯状況について	8
2 子どもの健康について	10
3 子どもの生活について	13
4 子どもの食生活について	15
5 子どものころについて	17
6 保護者の健康・生活について	18
7 世帯の就業と経済状況について	21
8 保護者の子どもへの関わりについて	24
9 保護者と地域とのつながりについて	26
第3章 子どもの健康・生活と「生活困難」についての詳しい分析	29
1 「生活困難」の定義	30
2 子どもの健康・生活と「生活困難」との関連	32
3 子どもの健康、「生活困難」、相談相手の有無との関連	35
4 子どもの健康状態と「生活困難」についての詳しい分析(媒介分析)	38
5 考察	40
6 調査を終えて	41
【資料】 使用した調査票及び集計結果	43

第 1 章 調査の概要

1 報告書について

この報告書は、平成27年度に実施した「子どもの健康・生活実態調査」をまとめたものです。調査の集計結果とあわせて、子どもの健康や生活の実態と「生活困難」()の関連について分析を行い、その結果を記載しています。

「生活困難」の定義については、P30を参照。

2 調査の背景

足立区には、区民の健康寿命が都の平均よりも約2歳短いという健康格差があります。その主な要因は糖尿病です。そこで、区民の健康寿命の延伸に向けて、「足立区糖尿病対策アクションプラン」を策定し、糖尿病に重点を置いた取組みを展開しています。糖尿病をはじめとする生活習慣病予防には、子どもの頃から正しい生活習慣を身につけることが効果的です。しかしながら、当区の現状は高学年になるにつれて肥満傾向児の割合が高くなり、むし歯のある子どもの割合も23区内で最下位の水準です。むし歯や歯の喪失は、よく噛まずに食べることにつながり、肥満や将来の生活習慣病の原因にもなります。

一方で、平成26年7月に厚生労働省がまとめた国民生活基礎調査によると、現在6人に1人の子どもが貧困状態にあると報告されています。これを受け、区では平成27年度を「子どもの貧困対策元年」と位置づけ、「足立区子どもの貧困対策実施計画 ～未来へつなぐ あだちプロジェクト～」を策定し、全庁をあげた取組みを開始しました。全ての子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、自分の将来に夢や希望が持てる地域社会の実現を目指しています。

健康は子どもたちの夢や希望を叶えるための大切な土台です。しかし、これまでの研究から、貧困は子どもたちの健康に悪影響を与えていると言われています。区としては、世帯の経済状況を即座に変えることが出来なくても、その影響を軽減し、子どもの健康を守り育てることが貧困の連鎖を断つ第一歩と考えます。そのためには、まず、できる限り正確に子どもの健康と生活の実態を把握したうえで、健康格差対策を講ずることが重要と考え、「子どもの健康・生活実態調査」を実施しました。

3 調査の目的

本調査は、子どもの健康と生活の実態を把握すること、子どもの健康が家庭環境や生活習慣からどのような影響を受けているかを明らかにすること、子どもの健康と世帯の経済状態にどのような関連があるか(媒介要因)を明らかにすること、以上3点を目的としています。今後も定期的に調査を行い、本調査で得られた結果とあわせて、区が実施する事業の効果等をより詳細に分析し、子どもたちの未来につながる実効性ある施策を展開していきます。

4 調査の時期

先行調査の実施（ 6 校） 平成 2 7 年 7 月
 本格調査の実施（ 6 3 校） 平成 2 7 年 1 1 月

5 実施方法

足立区と国立成育医療研究センター研究所 社会医学研究部が協働で調査を行いました。調査は無記名アンケート方式により、区立小学校に在籍する全小学 1 年生を対象に、区が学校を通じて質問票や回答票等の配付・回収を行い、国立成育医療研究センターが結果の集計・分析を実施しました。7 月に 6 校で先行調査を行い、実施上の課題を検証したうえで、1 1 月に残る 6 3 校で本格実施しました。

6 調査対象者

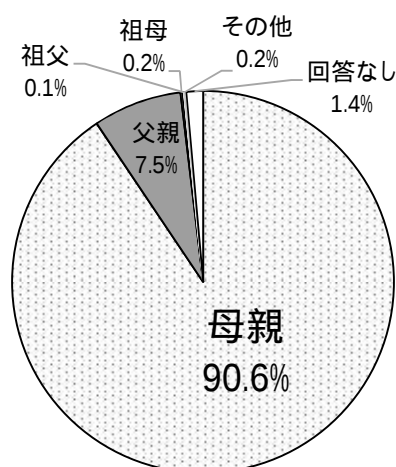
平成 2 7 年 4 月に区立小学校へ入学を予定していた児童から、実際には入学しなかった者、入学後に転出した者、長期欠席者を除き、1 学期に実施した学校健診対象者 5, 3 5 5 人に質問票を配付しました。

4, 4 6 7 人から回答票を回収し、このうち調査への同意が得られなかった者と回答票が白紙であった者を除いた 4, 2 9 1 人（有効回答率 8 0 . 1 %）を本報告書の分析対象者としています。

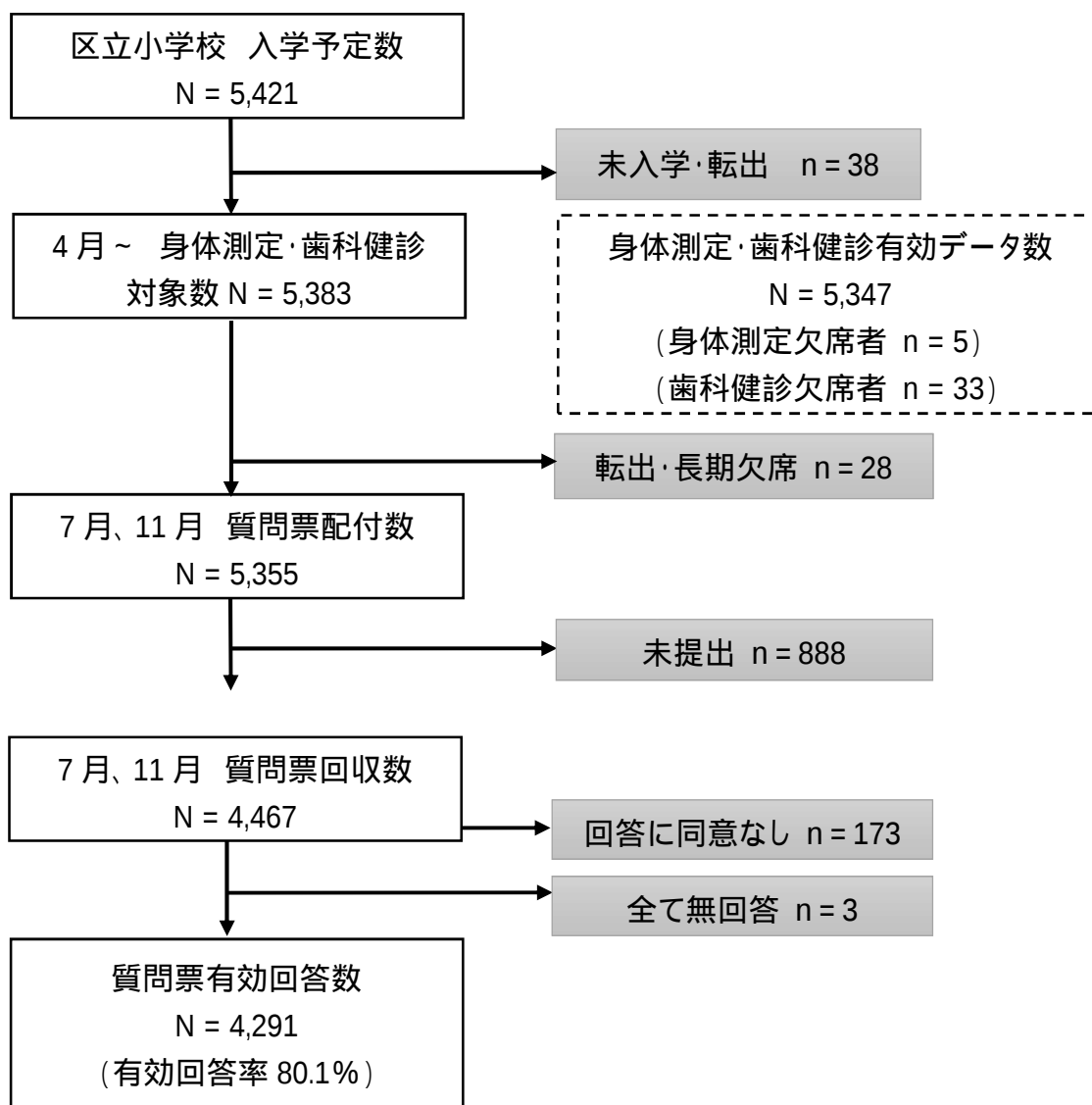
対象者フローチャートは、P 4 を参照。

7 回答者の構成

回答者の約 9 0 % は、子どもの母親です。



●平成27年度 子どもの健康・生活実態調査 対象者フローチャート



第 2 章 主な調査結果

主な設問体系と調査結果の概要

1 世帯状況について

P 8

- ・ 父母が同居している世帯は、90% . . . P 8
- ・ 世帯の年収は、全体の約11%が300万円未満 . . . P 9

2 子どもの健康について

P 10

- ・ 肥満傾向の子どもは、東京都・全国平均よりやや高い割合 . . . P 10
- ・ 麻しん・風しん混合ワクチン（自己負担なし）を受けていない
子どもは、約9% . . . P 11
- ・ むし歯が1本でもある子どもは、38% . . . P 11

3 子どもの生活について

P 13

- ・ 平日、夜10時以降に寝ている子どもは、約13% . . . P 13
- ・ 1週間のうち、ほとんど・全く運動しない子どもは、10%
（学校での運動を除く） . . . P 13
- ・ 平日に3時間以上テレビや動画を見る子どもは、約12% . . . P 13
- ・ 放課後、週1回以上子どもだけで留守番をしている世帯は、約10%
. . . P 14
- ・ 最近1ヶ月で1冊も本を読んでいない子どもは約9%、
4冊以上読んだ子どもは約58% . . . P 14

4 子どもの食生活について

P 15

- ・ 朝食を毎日食べる習慣のない子どもは、約6% . . . P 15
- ・ 夕食をひとりで、または子どもだけで食べる世帯は、約4% . . . P 15
- ・ 目玉焼き程度の子どもへの食事づくりが毎日ではない
世帯は、約18% . . . P 16

5 子どものころについて

P 17

- ・ 子どもの逆境を乗り越える力（自己肯定感、自己制御能力など）の
回答合計点分布 . . . P 17

6 保護者の健康・生活について

P 18

- ・喫煙習慣がある母親は約 1 6 %、父親は4 3 % . . . P 18
- ・肥満及び肥満傾向の父親は、約 2 7 % . . . P 19
- ・過去1ヶ月で1冊も本を読んでいない父母は、約 5 0 % . . . P 20
- ・抑うつ傾向の可能性がある保護者は、約 2 8 % . . . P 20
- ・幸福度 1 0 点満点中 8 点以上の保護者は、約 6 5 % . . . P 20

7 世帯の就業と経済状況について

P 21

- ・子どものための生活必需品が不足している世帯は、約 1 6 % . . . P 21
- ・経済的理由で水道やガスなどの支払いができなかった世帯は、約 9 % . . . P 21
- ・パート、アルバイト、非正規で働く父親は、約 3 % . . . P 22

8 保護者の子どもへの関わりについて

P 24

- ・毎日子どもの勉強を見る保護者は、約 8 0 % . . . P 24
- ・毎日子どもと体を動かして遊ぶ保護者は約 7 %、
めったに子どもと体を動かして遊ばない保護者は約 1 4 % . . . P 24
- ・夜間子どもだけ残して外出することがある保護者は、約 3 % . . . P 25

9 保護者と地域とのつながりについて

P 26

- ・地域の人々を信頼している保護者は、約 5 3 % . . . P 26
- ・本当に困ったときや悩みのあるときに相談できる人がいない
保護者は、約 6 % . . . P 26

1 世帯状況について

子どもの性別 【問1】

男女の割合は、約半々です。

世帯・婚姻状況 【問3】

父母が同居している世帯は、90%です。

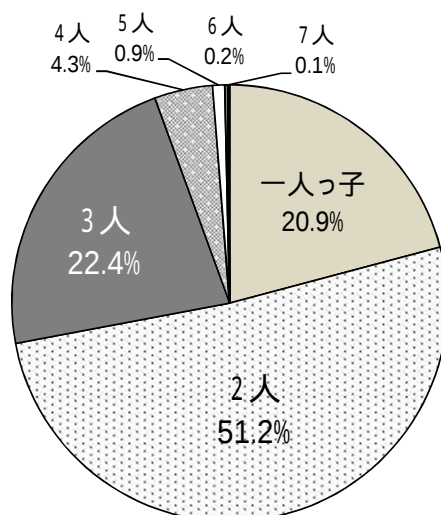
● 世帯状況別の世帯数及び割合

	世帯数	割合(%)
父母が同居している世帯	3,862	90.0
母子世帯	387	9.0
父子世帯	27	0.6
父母どちらとも同居していない世帯	12	0.3
その他・不明	3	0.1

全国の児童のいる世帯のうち、ひとり親と未婚の子のみの世帯の割合 7.4% [出典：平成26年度国民生活基礎調査]

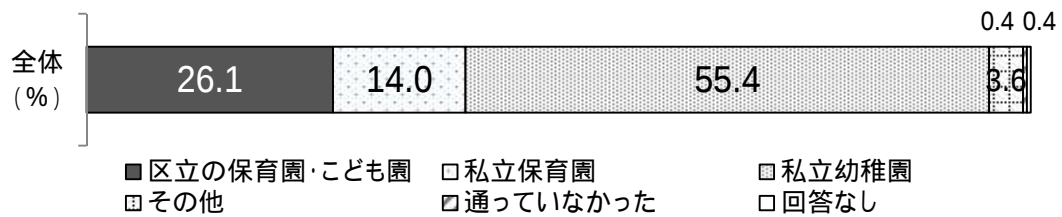
きょうだい数【問3】

一人っ子の割合は、約20%です。



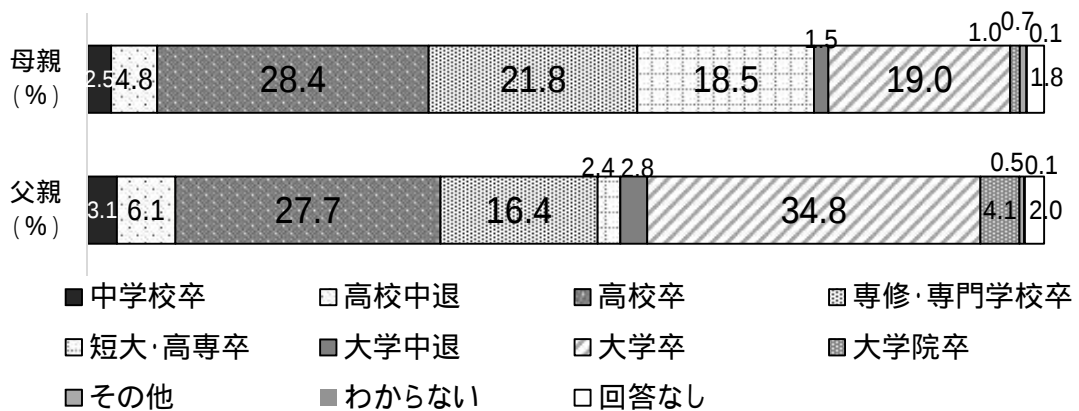
小学校入学前の施設状況【問4】

入学前に通っていた施設は、私立幼稚園が約55%で、区立保育園・こども園は約26%です。



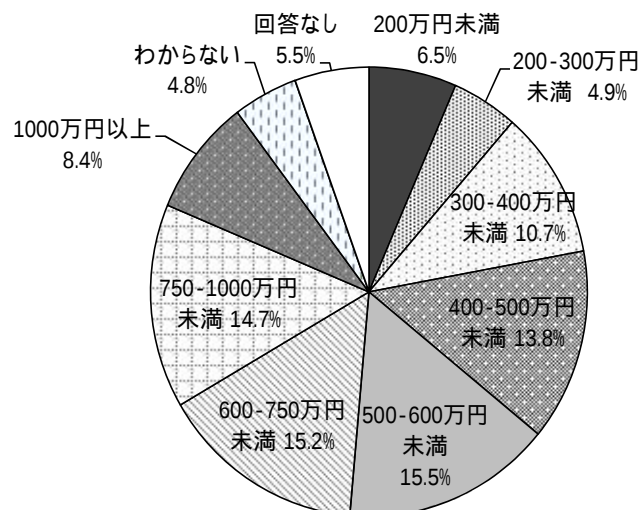
父母の学歴〔本格調査のみ〕【問12】

母親の学歴は高校卒業が約28%、大学卒業が約19%です。父親の学歴は高校卒業が約28%、大学卒業が約35%です。



世帯の経済状況【問13(1)】

世帯全員の税込み収入(年収)は、500～600万円未満が最も多く約16%で、次いで600～750万円未満が約15%です。また、約11%が300万円未満です。

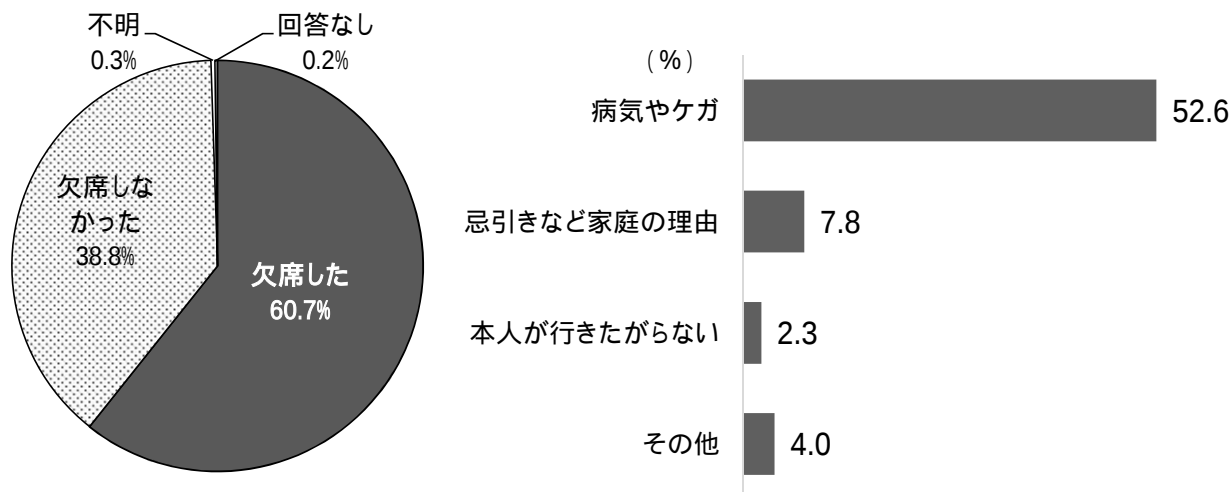


2 子どもの健康について

入学後の欠席状況 【問6(1)】

小学校入学後に欠席を経験した子どもは約61%です。

主な欠席理由は、病気やケガです。



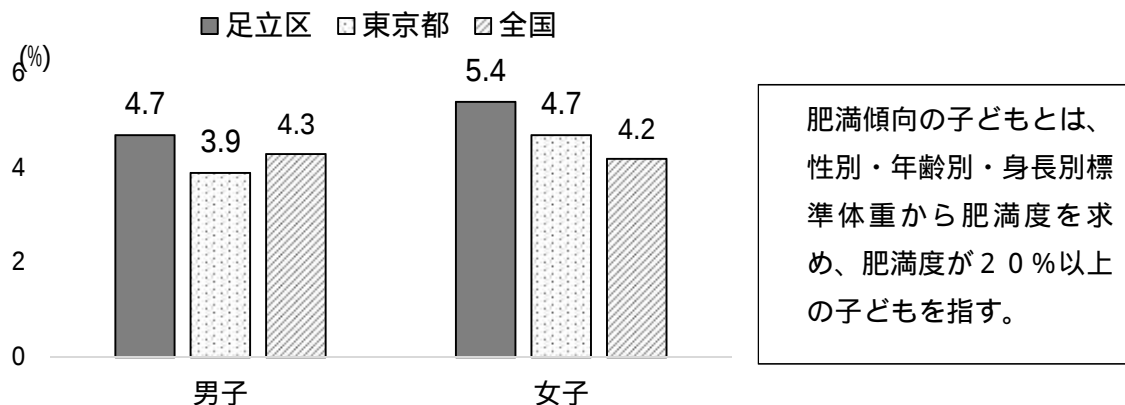
健康診断結果（身長及び体重）

	身長 (c m)	体重 (k g)
男児	116.8 [117.0]	21.6 [21.6]
女児	115.9 [115.7]	21.1 [20.8]

[]内の数字は、平成26年度6歳児東京都平均の身長及び体重
(出典：東京都の学校保健統計書)

肥満傾向（肥満度）

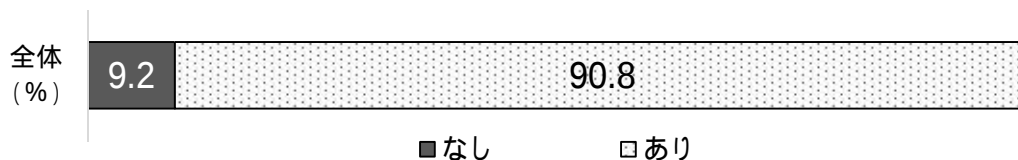
肥満傾向の子どもの割合は、男女とも東京都・全国平均よりやや高い水準です。



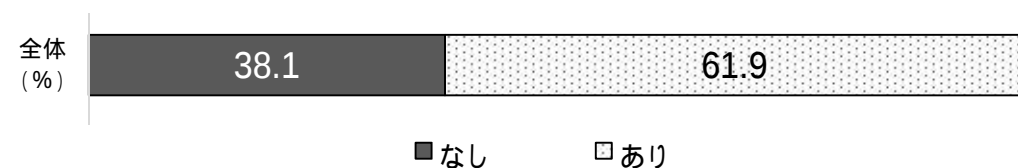
ワクチン接種状況 【問7(3)】

麻しん・風しん混合ワクチンの接種（自己負担なし）を受けていない子どもが約9%、インフルエンザワクチン接種（自己負担あり）を受けていない子どもが約38%います。

【麻しん・風しん混合ワクチン（自己負担なし）の接種状況】



【インフルエンザワクチン（自己負担あり）の接種状況】



歯みがきの頻度 【問8(1)】

歯みがきが1日1回以下の子どもは約25%です。



子どもの歯の仕上げみがき習慣 【問8(2)】

親が子どもの歯の仕上げみがきをしない世帯は約15%です。

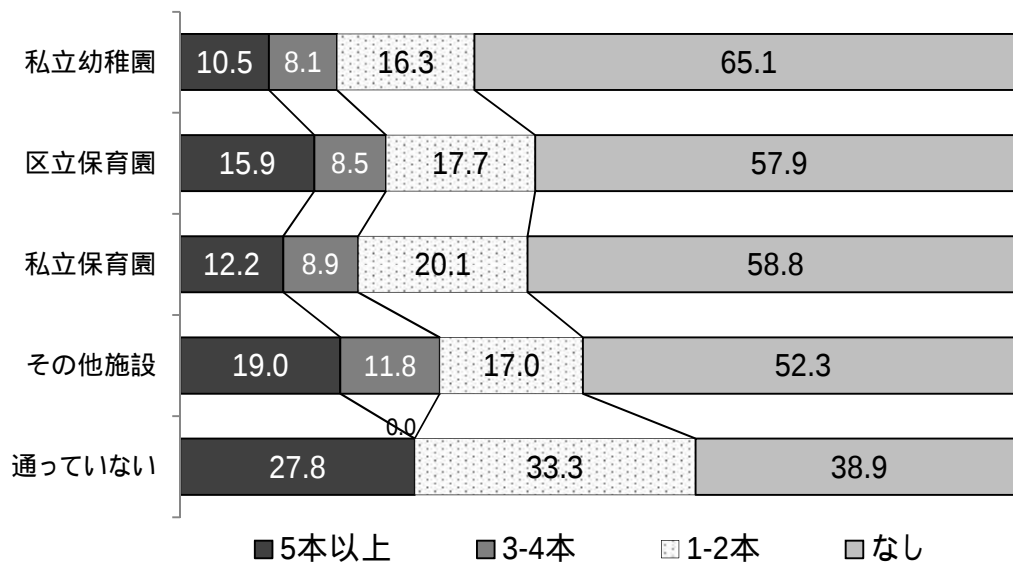


子どものむし歯の状況 むし歯の本数(乳歯及び永久歯)【歯科健診結果より】
歯科健診の結果では、むし歯が1本でもある子どもは38%です。



● むし歯の本数と就学前施設

就学前に通っていた施設によって、むし歯が5本以上ある児童の割合に差が見られます。

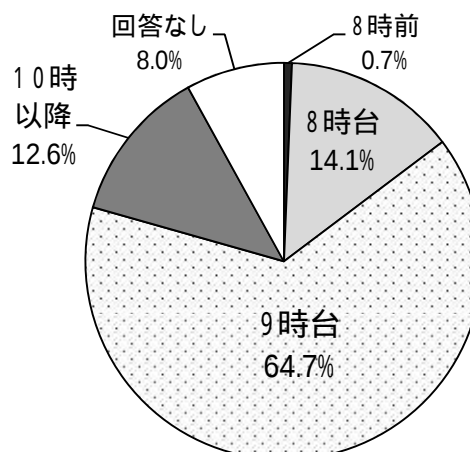


3 子どもの生活について

就寝時間 【問9(2)】

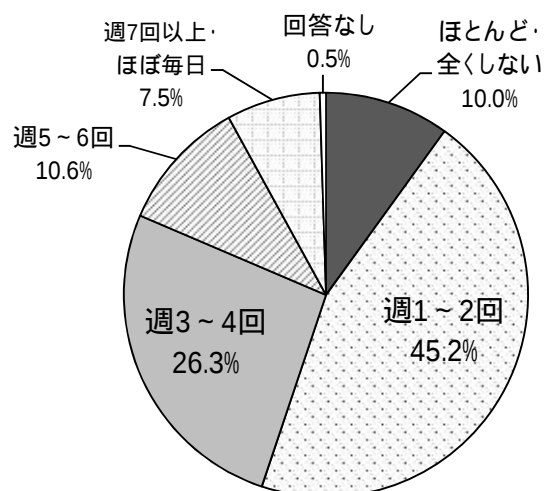
平日、夜10時以降に寝ている子どもが約13%います。

また、平日の就寝時間が決まっていない子どもは約8%です。



運動習慣 【問9(3)】

1週間に学校以外で運動をしない子どもは10%です。



テレビ・動画の視聴時間 【問9(5)】

平日に3時間以上テレビや動画を見る子どもは約12%です。



コンピュータゲームで遊ぶ時間 【問9(5)】

平日に1時間以上コンピュータゲームをする子どもは約21%です。



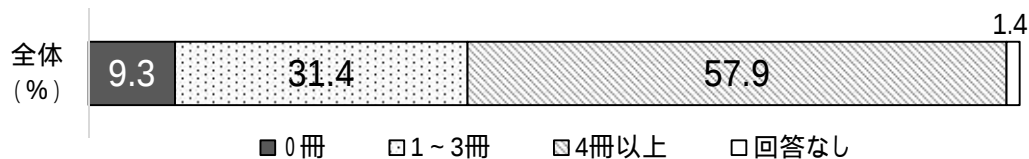
留守番の頻度 【問9(4)】

平日の放課後に週1回以上子どもだけで留守番をする世帯は約10%です。



子どもの読書数 【問9(6)(ア)】

最近1か月で全く読書をしていない子どもは約9%です。



● 子どもの読書数と母親の読書数の関係

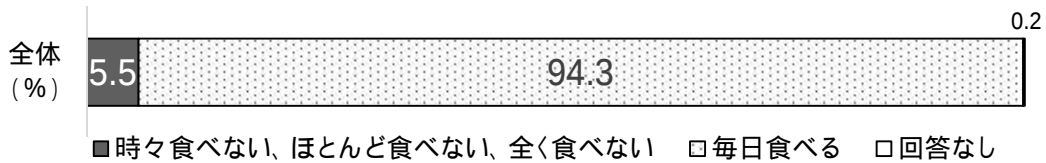
母親が本を読まない世帯は、子どもも本を読まない傾向にあります。



4 子どもの食生活について

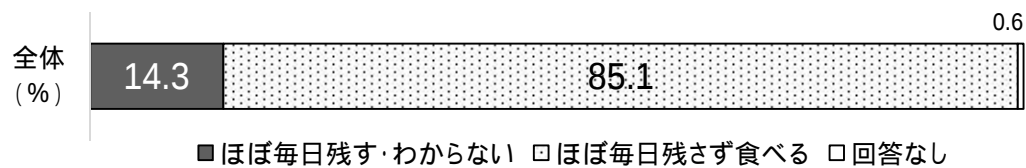
朝食の摂取状況 【問5(1)】

朝食を毎日食べる習慣のない子どもは約6%です。



給食の摂取状況 【問5(2)】

給食を残さず食べる子どもは約85%です。

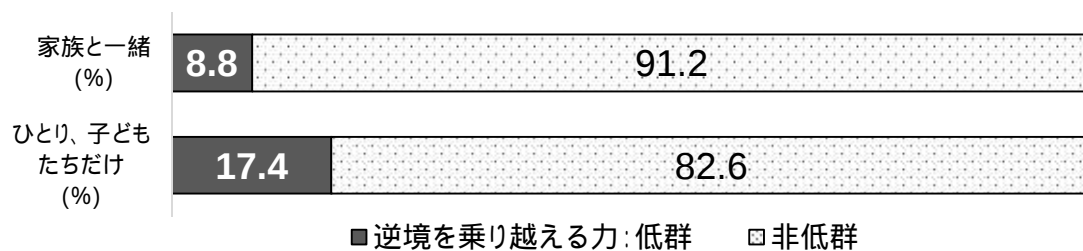


夕食の摂取状況 【問5(3)】

夕食をひとりで、または子どもたちだけで食べる世帯は約4%です。

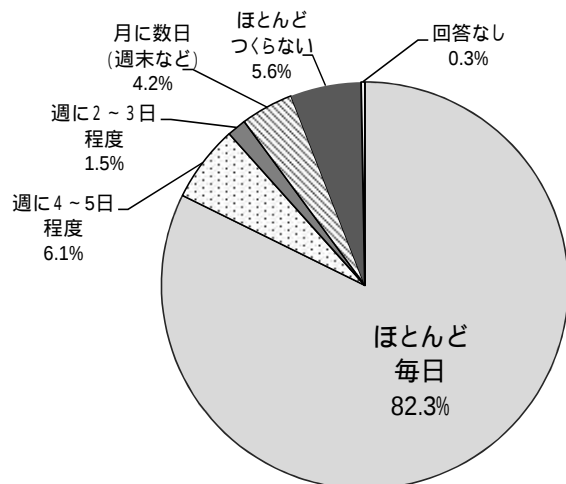


- 夕食の摂取状況と逆境を乗り越える力(自己肯定感、自己制御能力など)
夕食を家族と一緒に食べる世帯では、逆境を乗り越える力が低い子どもが約9%です。



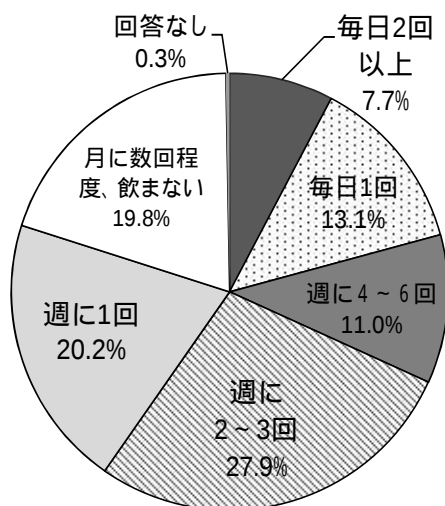
自宅での調理頻度 【問5(4)】

目玉焼き程度の子どもへの食事づくりが毎日ではない世帯は約18%です。



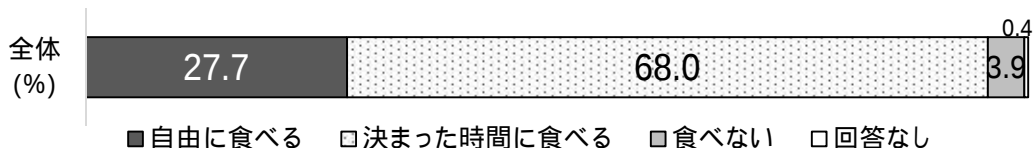
砂糖入りジュースの摂取頻度 [本格調査のみ] 【問5(7)】

砂糖入りジュースを毎日1回以上飲む子どもは約21%です。



お菓子の摂取状況 [本格調査のみ] 【問5(8)】

お菓子を決まった時間ではなく自由に食べる子どもは約28%です。



5 子どものころについて

逆境を乗り越える力（自己肯定感、自己制御能力など）【問10】

逆境を乗り越える力を測る質問紙（The Devereux Student Strengths Assessment、以下 DESSA）において、8 項目の合計点の分布は以下の図のようになりました。
点数が高い方が逆境を乗り越える力が低いことを意味します。

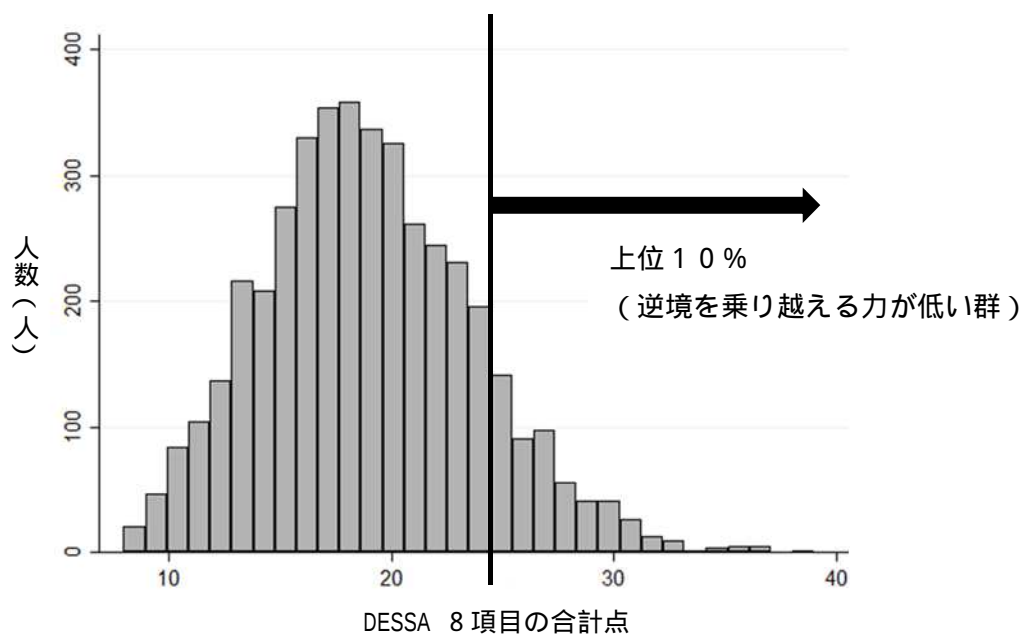
本調査では、逆境を乗り越える力が低い群について詳しい分析を行っています。

参照：P 15 夕食の摂取状況と逆境を乗り越える力

P 32 子どもの健康・生活と「生活困難」との関連
 （逆境を乗り越える力）

P 37 子どもの健康、「生活困難」、相談相手の有無との関連
 （4）逆境を乗り越える力

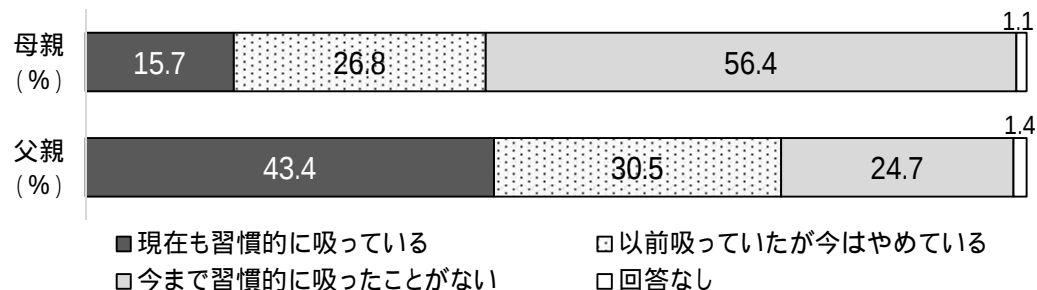
P 39 逆境を乗り越える力の低さ



6 保護者の健康・生活について

喫煙習慣【問11(2)】

現在喫煙している母親は約16%、父親は約43%です。



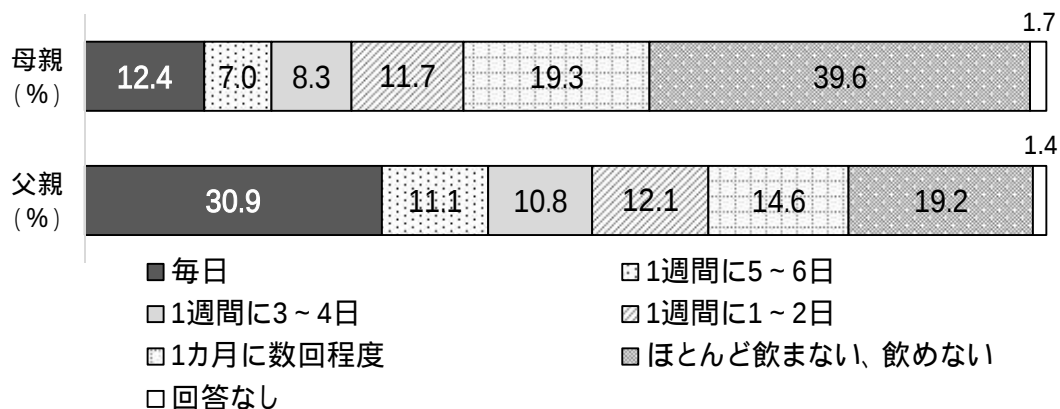
現在習慣的に喫煙している者

30歳代女性14.3% 40歳代男性44.2%

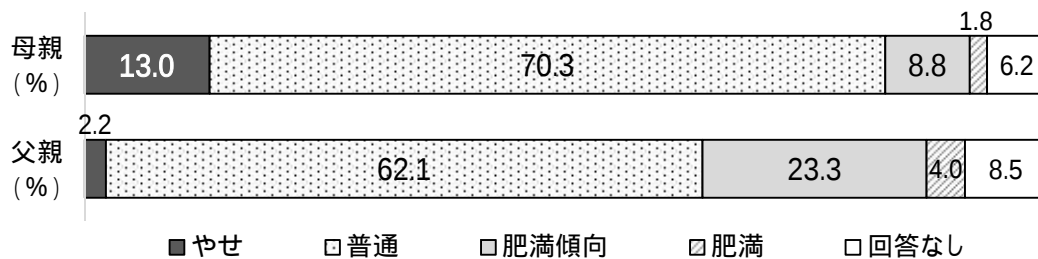
[出典：平成26年度国民健康・栄養調査より]

飲酒習慣【問11(3)】

毎日飲酒をする母親は約12%、父親は約31%です。



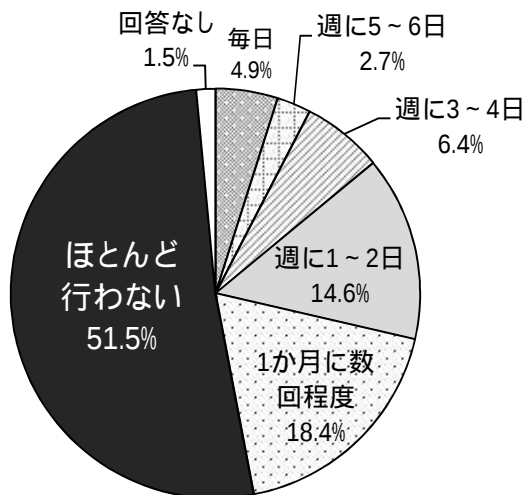
父母の体格（BMI〔体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）〕）【問11(1)】
 肥満及び肥満傾向の母親は約11%、痩せ過ぎの母親は13%です。肥満及び
 肥満傾向の父親は約27%です。



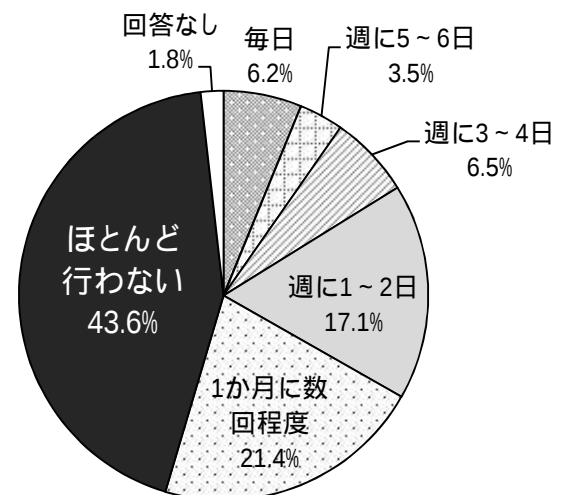
運動習慣 【問11(4)】

運動習慣がない母親は約52%、父親は約44%です。

母親



父親



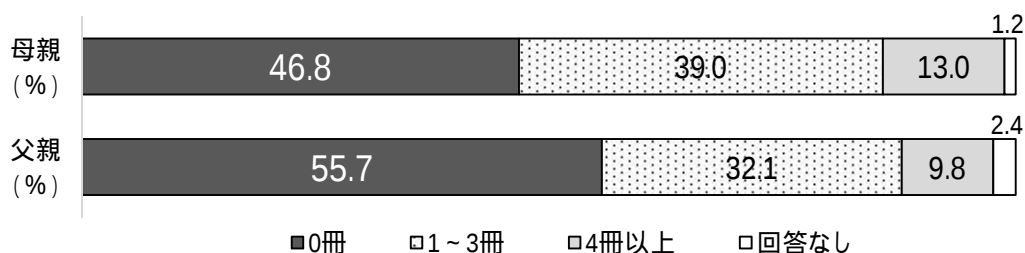
運動習慣がない

女性 47.5% 男性 37.5%

[出典：2010年まちと家族の健康調査]

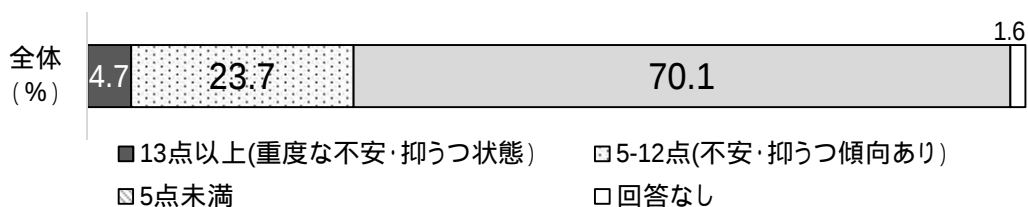
父母の読書数 【問9(6)(イ)(ウ)】

最近過去1か月で1冊も本を読んでいない父母は約50%です。



抑うつ傾向 【問16(4)】

抑うつ傾向を測る6つの質問(K6-心のチェック表)において、抑うつ傾向があると考えられる合計点数5点以上の保護者は約28%です。



抑うつ傾向

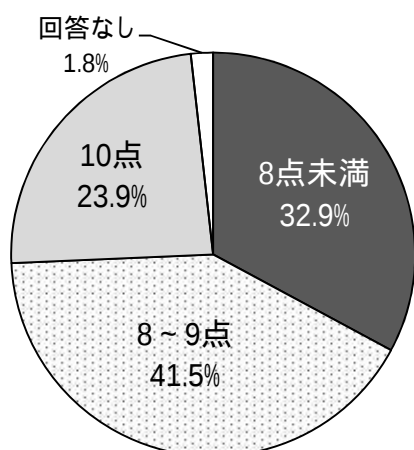
5点以上(不安抑うつ傾向あり)の割合

20代 32.6% 30代 31.6% 40代 32.1%

[出典：平成25年度「国民生活基礎調査」]

幸福度 【問16(2)】

幸福度10点満点中8点以上(幸福度が高い)の保護者は約65%です。



平均点：8点

幸福度(0から10点)の平均値

6.68(4,058人)

男女別・年齢別：30代女性 7.02

男性 6.63

40代女性 6.67

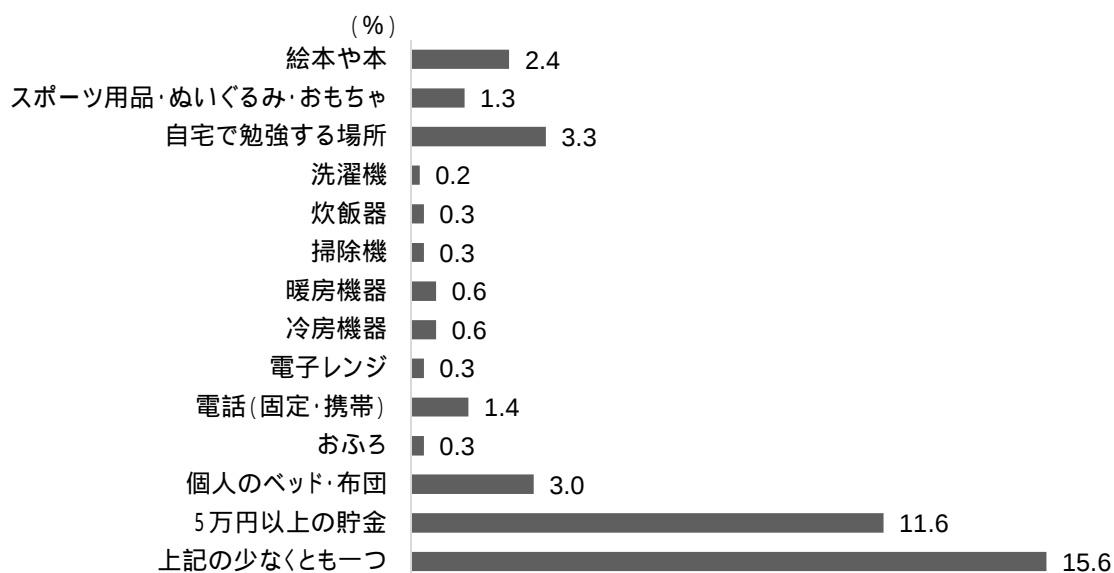
男性 6.65

[出典：平成25年度「生活の質に関する調査」(内閣府)]

7 世帯の就業と経済状況について

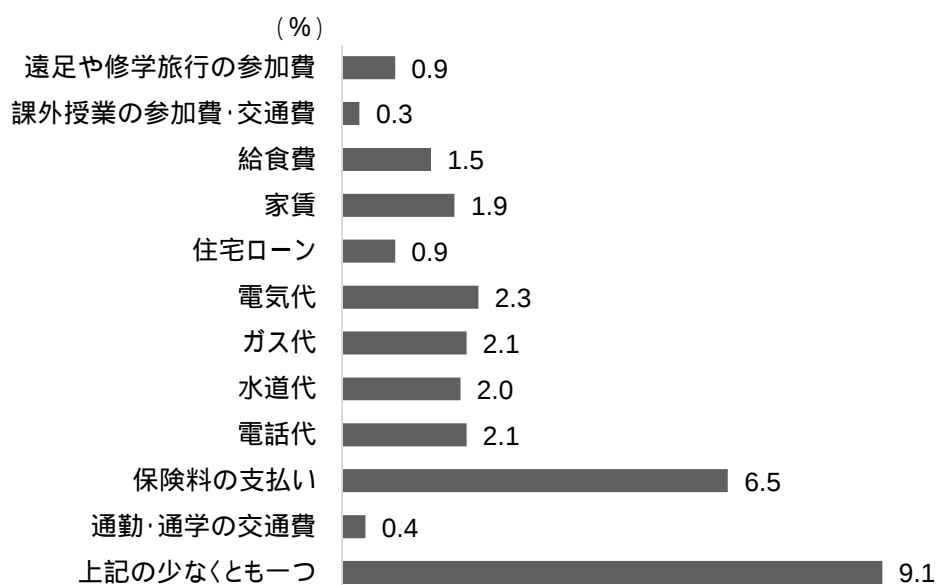
生活必需品の非所有 【問13(3)】

経済的理由で、子どもを育てるうえで必要と考えられる生活必需品を所有していないものが「どれかひとつでもある」と回答した世帯は、約16%です。



ライフラインの支払い困難経験 【問13(4)】

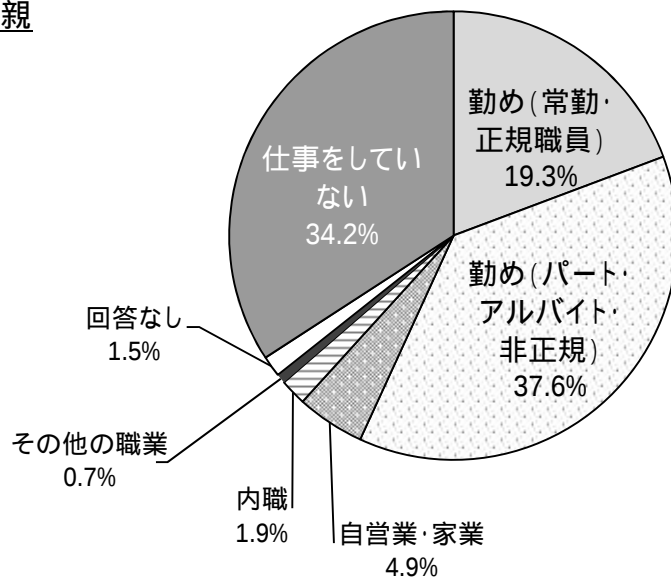
ライフライン等の支払い困難経験が「少なくとも一つはある」と答えた世帯は、約9%です。



母親の就業状況 【問14】

仕事をしている母親は約64%です。仕事をしていない母親は約34%で、そのうち仕事を探している母親は約18%（全体の6%）です。

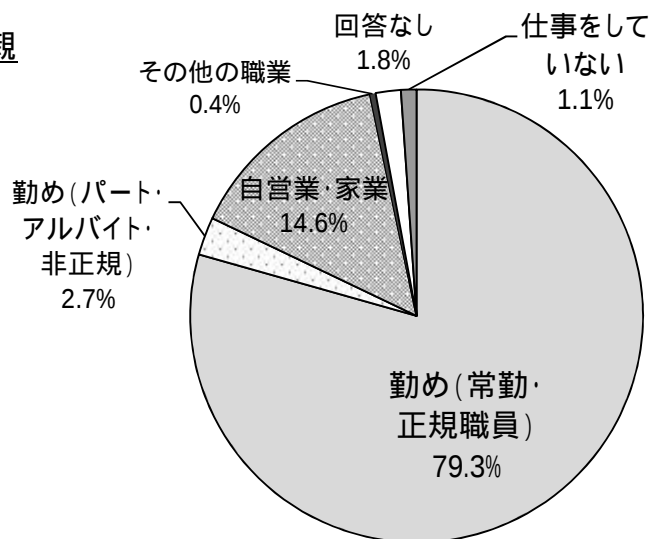
母親



父親の就業状況 【問14】

仕事をしている父親は約97%です。そのうち、パート・アルバイト・非正規で働く父親は約3%です。

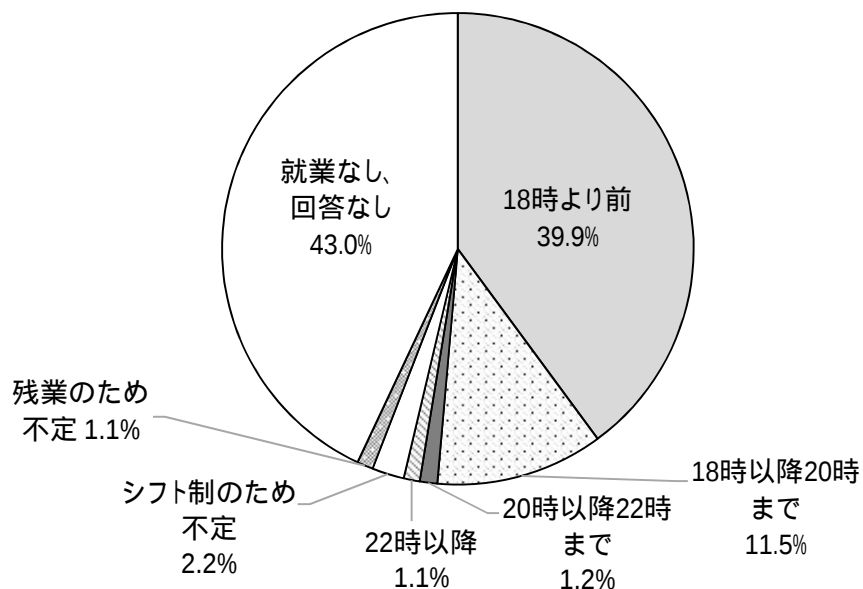
父親



父母の帰宅時間〔本格調査のみ〕 【問14(イ)】

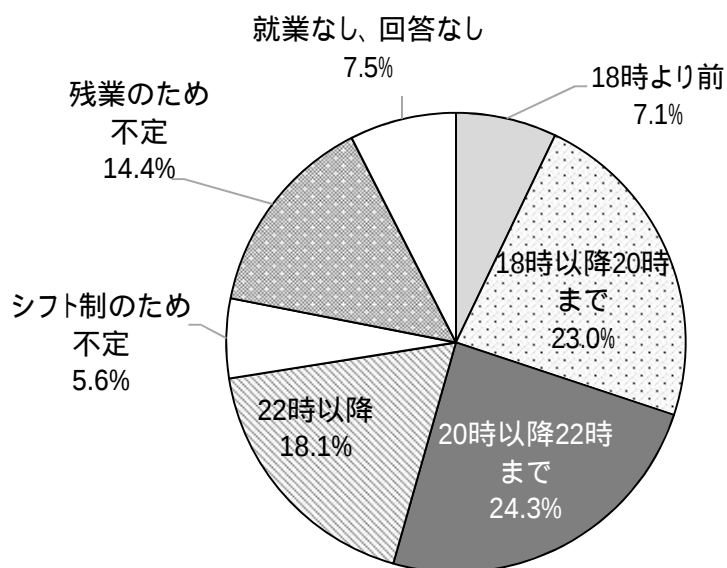
母親

18時より前に帰宅する母親は約40%、20時以降になる母親は約2%です。



父親

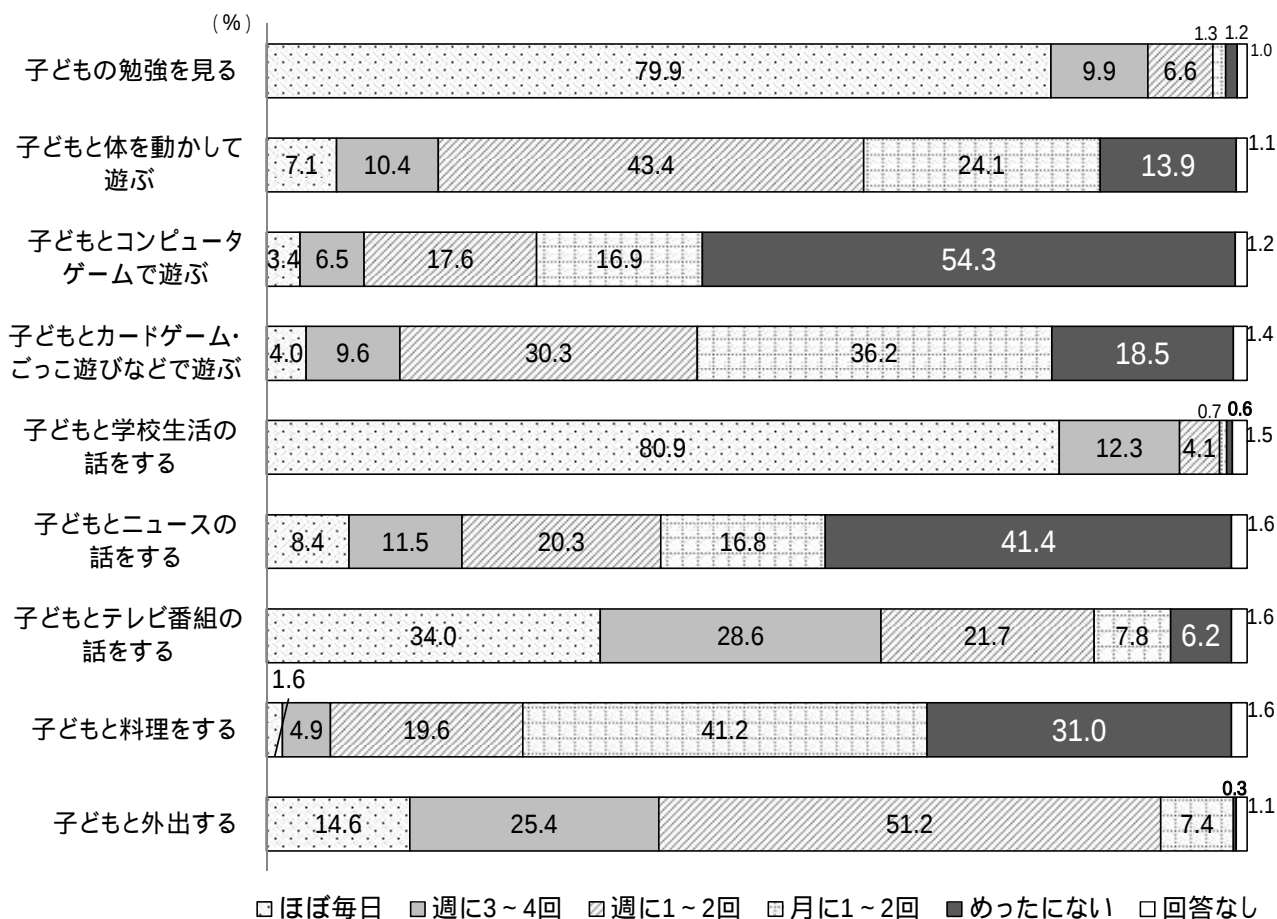
18時より前に帰宅する父親は約7%、20時以降22時までに帰宅する父親は約24%です。また、残業のため帰宅時間が決まっていない父親は約14%です。



8 保護者の子どもへの関わりについて

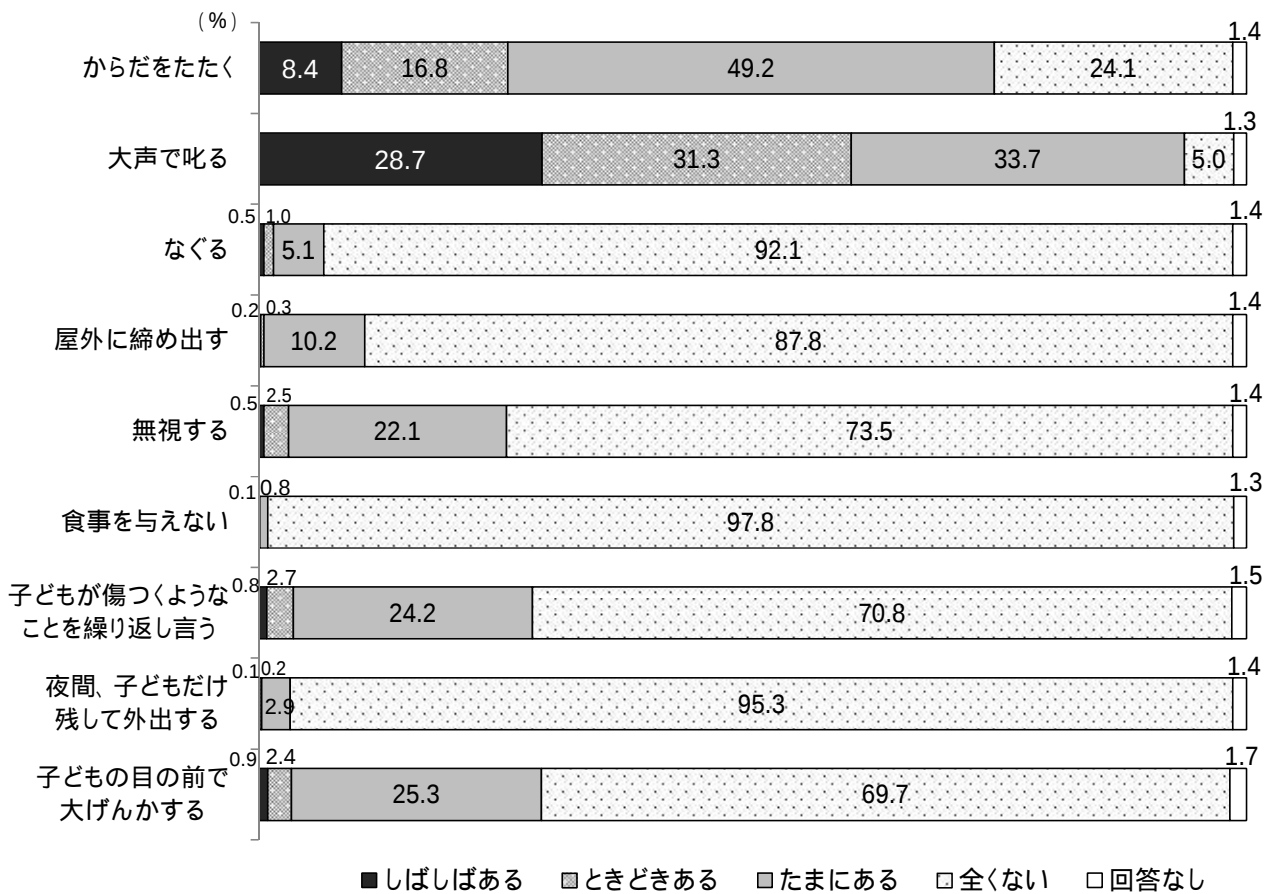
子どもとの関わり（その1）【問15(1)】

子どもとの関わりの中で、ほぼ毎日「子どもの勉強を見る」世帯は約80%です。「子どもとニュースの話をする」ことがめったにない世帯は、約41%です。



子どもとの関わり（その2）【問15(2)】

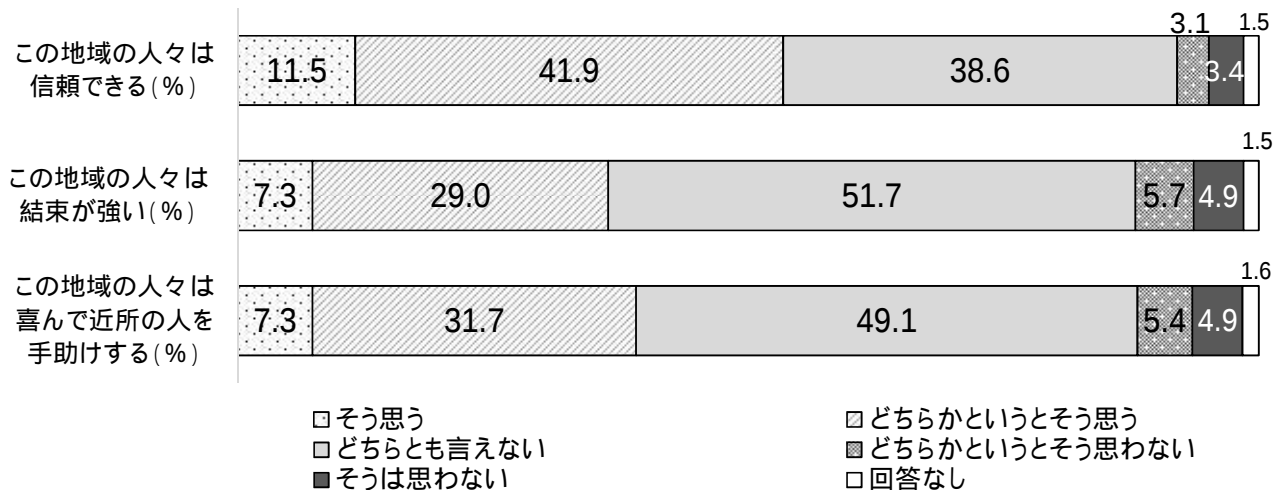
「大声で叱る」ことが、しばしばある及びときどきある保護者は60%です。「夜間、子どもだけ残して外出する」ことがある保護者は約3%です。



9 保護者と地域とのつながりについて

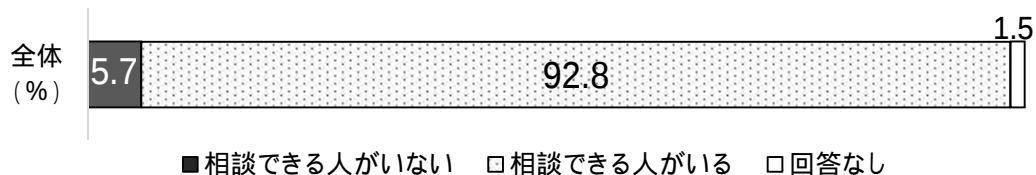
地域とのつながり 【問16(3)】

地域（同じ町内会くらいの範囲）の人々を信頼できると回答した保護者は、約53%です。この地域の人々は結束が強いと回答した保護者は約36%です。



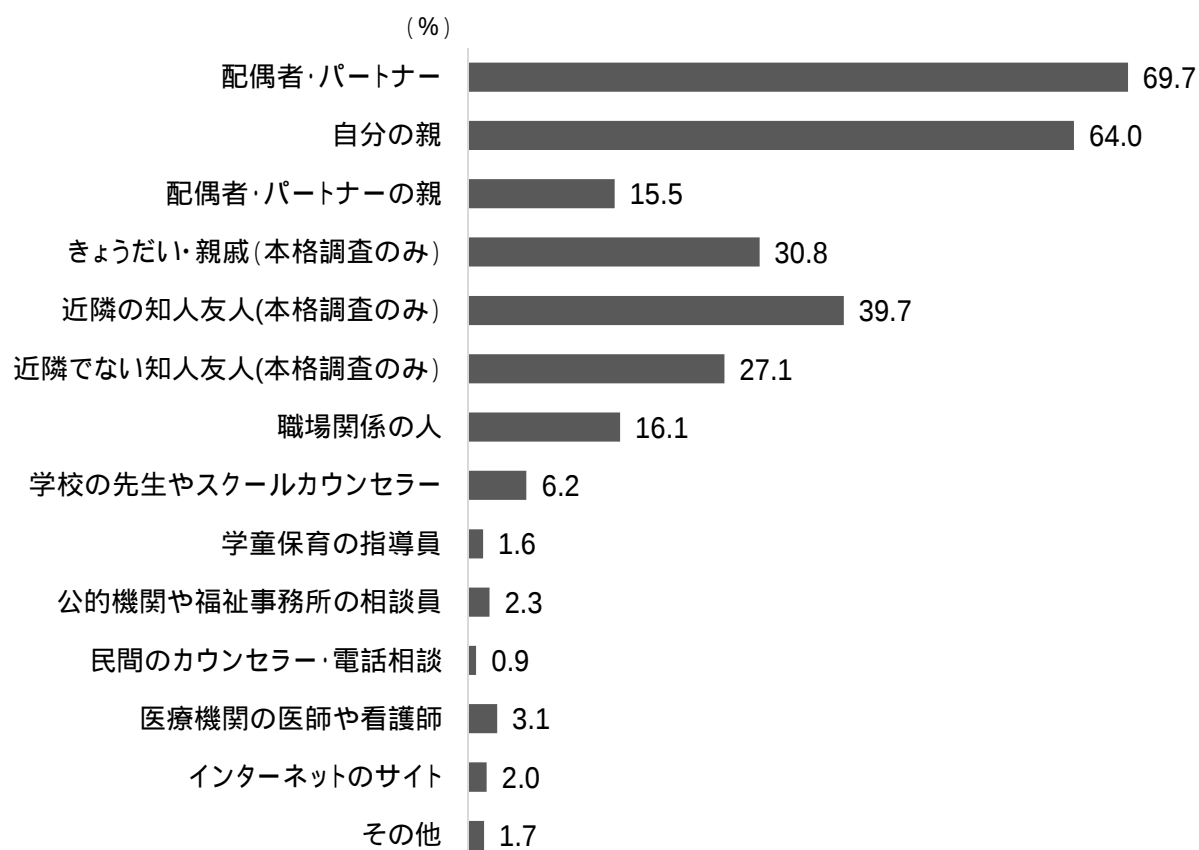
相談相手の有無 【問16(5)】

本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいない保護者は約6%です。



相談相手 【問16(5)(ア)】

困ったときの相談相手は、配偶者・パートナーが約70%、次いで自分の親が64%、近隣に住む知人や友人が約40%です。また、民間のカウンセラー・電話相談を選んだ人は最も少なく約1%です。



第3章 子どもの健康・生活と

「生活困難」についての詳しい分析

1 「生活困難」の定義

(1) 「生活困難」の定義

本調査では、子どもの貧困状態を家庭の経済的な困窮だけでなく家庭環境全体で把握すべきであると考え、世帯年収300万円未満、生活必需品の非所有（子どもの生活において必要と思われる物品や5万円以上の貯金がない等）、支払い困難経験（過去1年間に経済的理由でライフラインの支払いができなかったこと）のいずれか1つでも該当する世帯を「生活困難」にある状態と定義しました。

要素 世帯年収300万円未満

経済状況から「生活困難」を把握するもので、世帯人数にかかわらず、世帯年収300万円未満と定義しました。300万円を基準とする根拠は3つあります。

1つ目は、生活保護基準から捉えた視点です。生活保護を受給している母子世帯（母 30代、子 小学1年生）を想定した場合、その年収は生活保護基準に基づき算定すると272万円相当となり、300万円未満の年収層で経済的な「生活困難」を把握することが妥当と考えられました。

2つ目は、世帯の可処分所得から捉えた視点です。同じく母子世帯（母 30代、子 小学1年生）において、300万円の年収がすべて給与収入と考えたとき、税や社会保障費を引いて児童手当等を加味すると、世帯の可処分所得は303万円程度と類推されました。世帯人数が増えれば経済的困窮度はさらに増すため、300万円を基準と設定することは妥当と考えられます。

3つ目は、生活必需品の非所有と支払い困難経験を年収から比較した視点です。世帯年収200万円と300万円で生活必需品の非所有、ライフラインの支払い困難経験の割合を比較したところ、ほとんど差がありませんでした。つまり、200万円を基準にすると、多くの「生活困難」層を取りこぼすおそれがあると考えられます。

以上3点から、本調査では国民生活基礎調査で用いられる、いわゆる「相対的貧困（率）」（ ）の算出方法からではなく、世帯年収から経済的な困窮度を把握することとし、その基準を世帯年収300万円未満と設定しました。

「相対的貧困（率）」とは、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合。貧困線とは、等価可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入である世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額。

要素 生活必需品の非所有

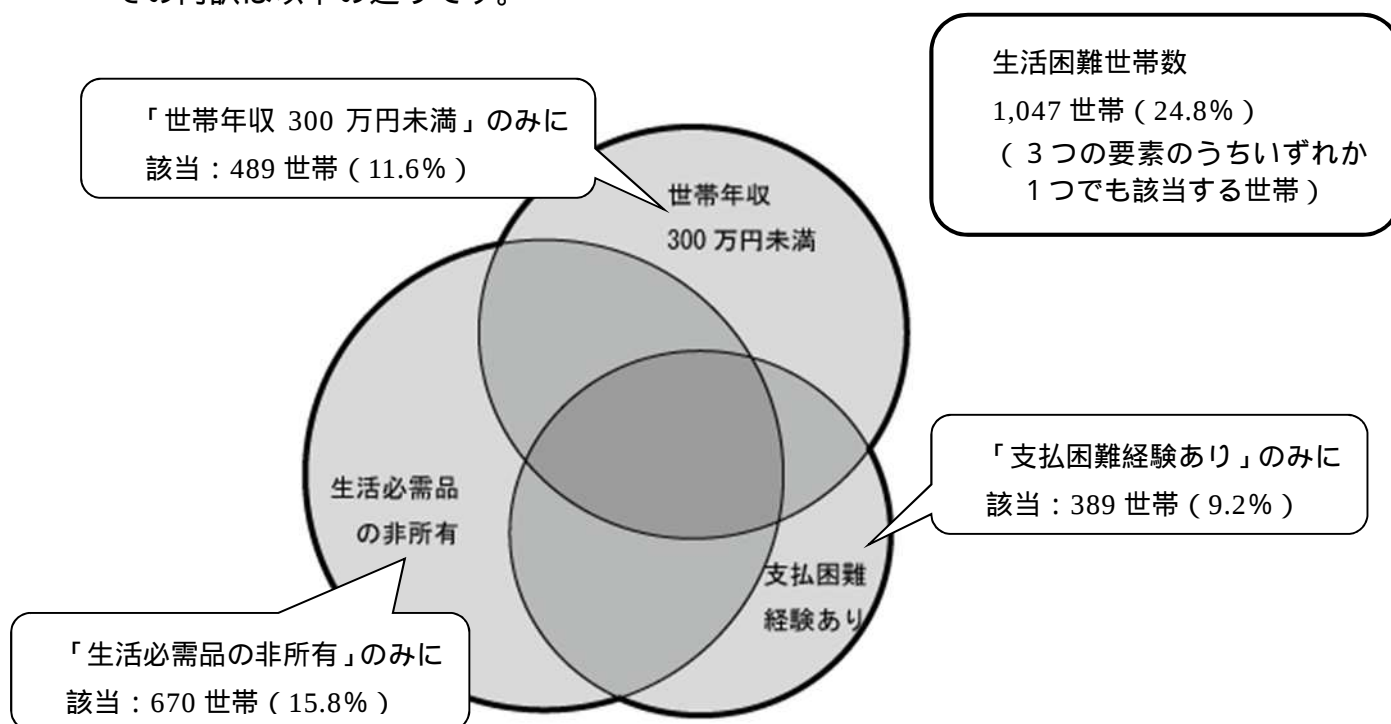
生活必需品の非所有も子どもの貧困状態を捉えるもので、「生活困難」を定義する要素の1つとしました。子どもの生活に必要なと思われる環境（机等）物品（本やおもちゃ等）いざというときに対処できるだけの貯金（5万円以上）がない状況で把握しました。

要素 支払い困難経験

ライフライン等の支払い困難経験についても、水や電気、公的な健康保険など、生活に必要なものが途絶えかねない状況に陥っているかどうかを把握できるため、「生活困難」を定義する要素の1つと捉えました。

（2）「生活困難」を定義付ける各要素の割合

「生活困難」を定義付ける3つの要素について、そのいずれか1つでも該当する世帯を「生活困難」にある状態と定義しました。したがって、この3つの要素に対する質問すべてに答えなかった62世帯を除く、4,229世帯を対象とし、その内訳は以下の通りです。



要素 「世帯年収 300 万円未満」のみに該当する世帯数： 489 世帯（11.6%）

要素 「生活必需品の非所有」のみに該当する世帯数： 670 世帯（15.8%）

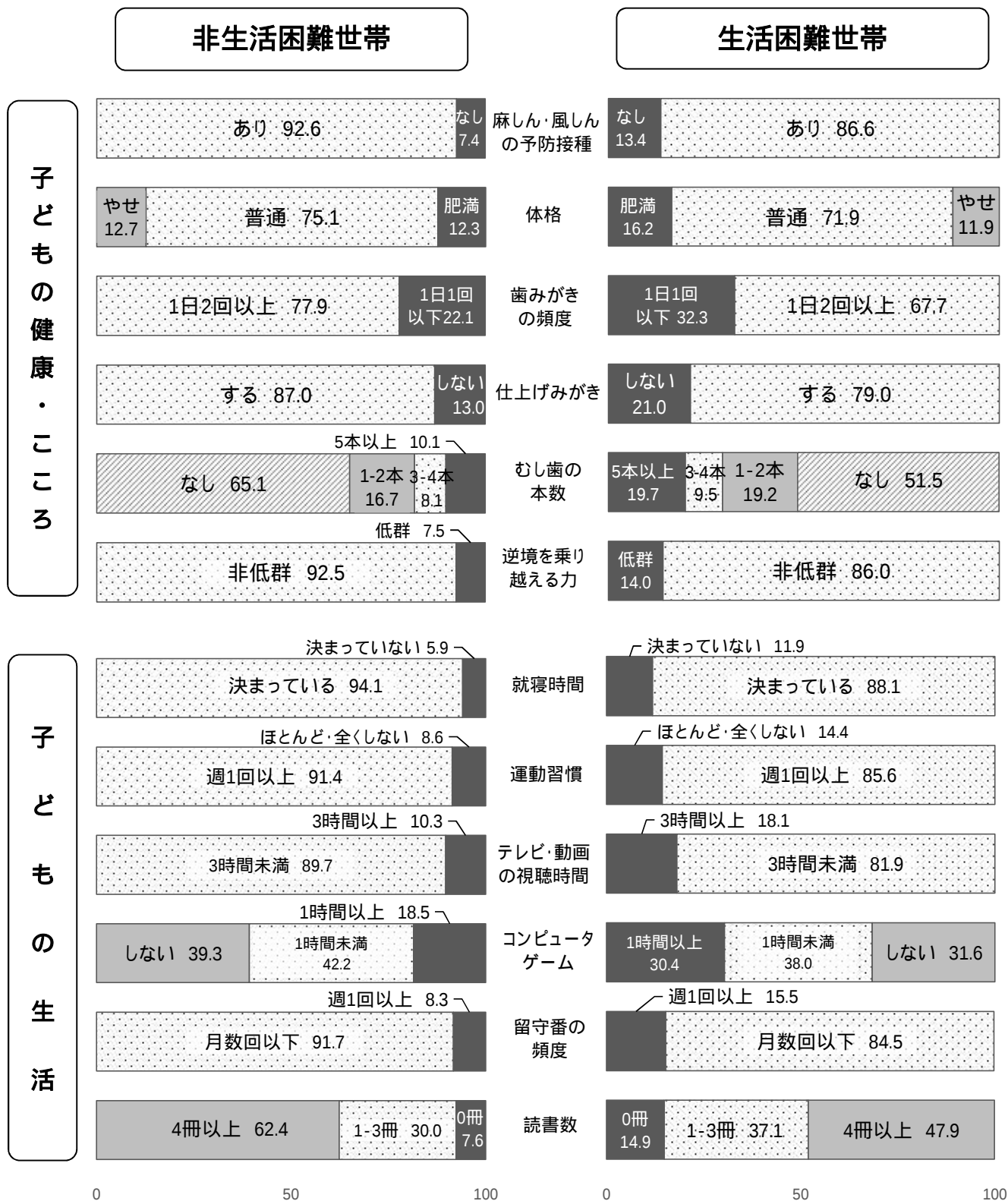
要素 「支払い困難経験あり」のみに該当する世帯数： 389 世帯（9.2%）

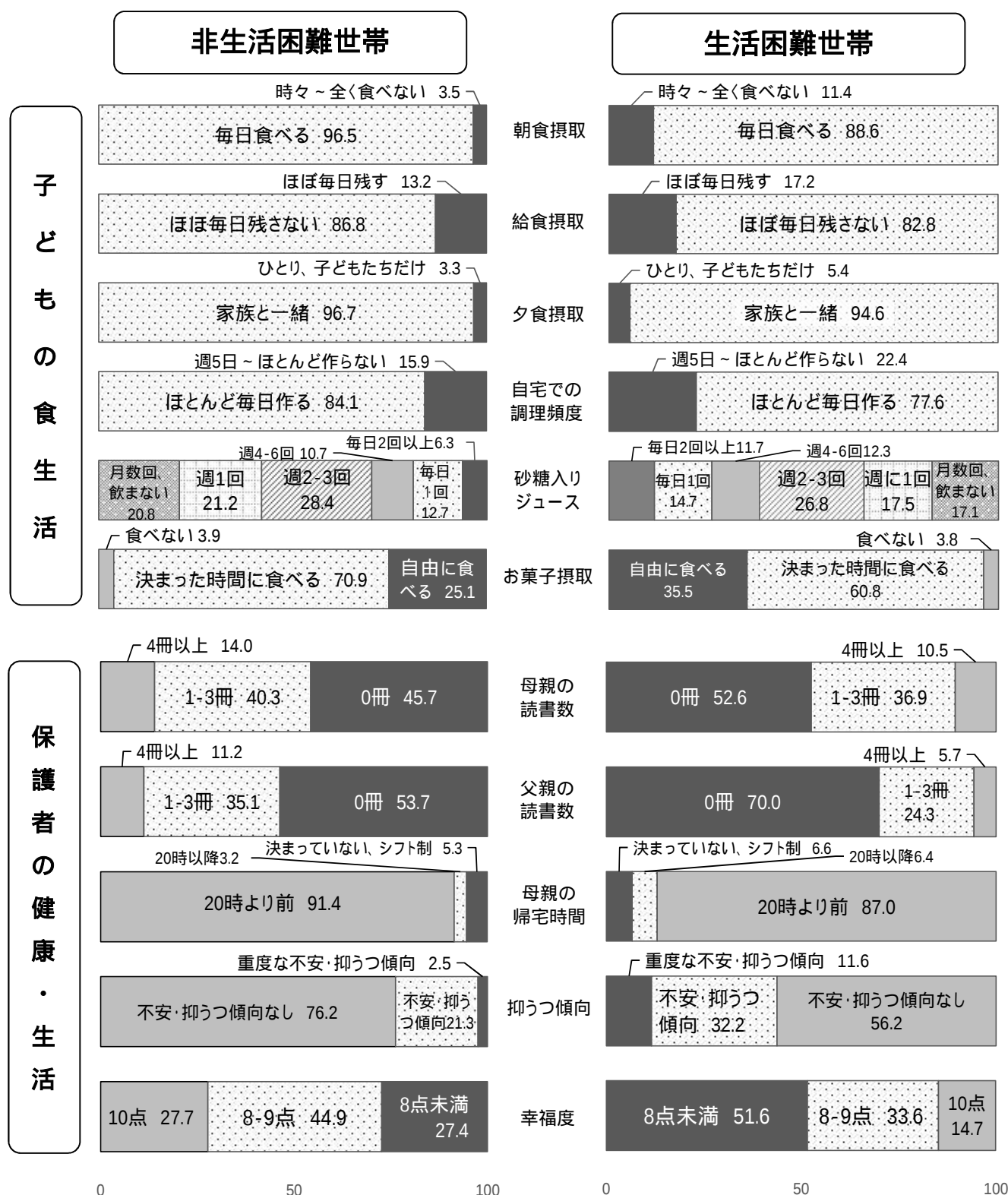
「生活困難」世帯数（3つの要素のうちいずれか1つでも該当する世帯数）：

1,047 世帯（24.8%）

2 子どもの健康・生活 と「生活困難」との関連

子どもの健康・生活に生活困難がどの程度関連があるかを調べるために、健康・生活に関する項目について、非生活困難世帯と生活困難世帯を比較しました。

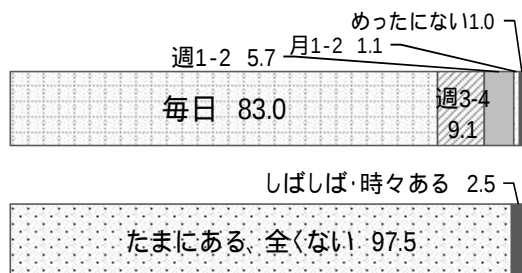




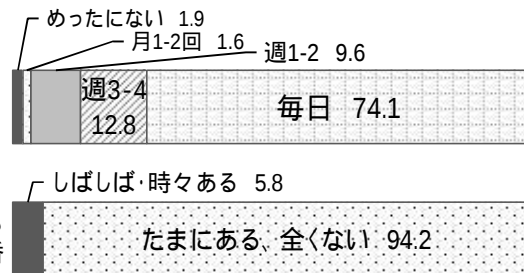
非生活困難世帯

生活困難世帯

保護者の子どもへの関わり

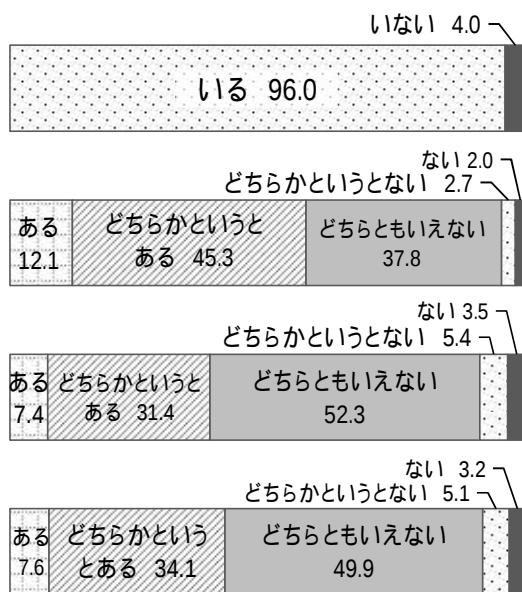


子どもの勉強を見る頻度



夜間に子どもだけで留守番

保護者の地域とのつながり

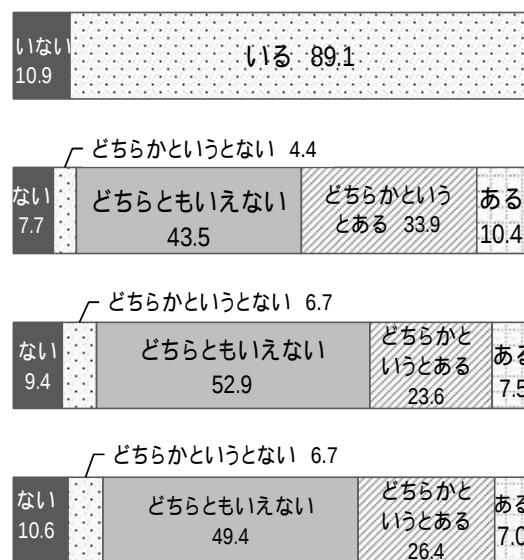


相談相手

地域への信頼

地域の結束

地域の助け合い



0%

50%

100%

0%

50%

100%

3 子どもの健康、「生活困難」、相談相手の有無との関連

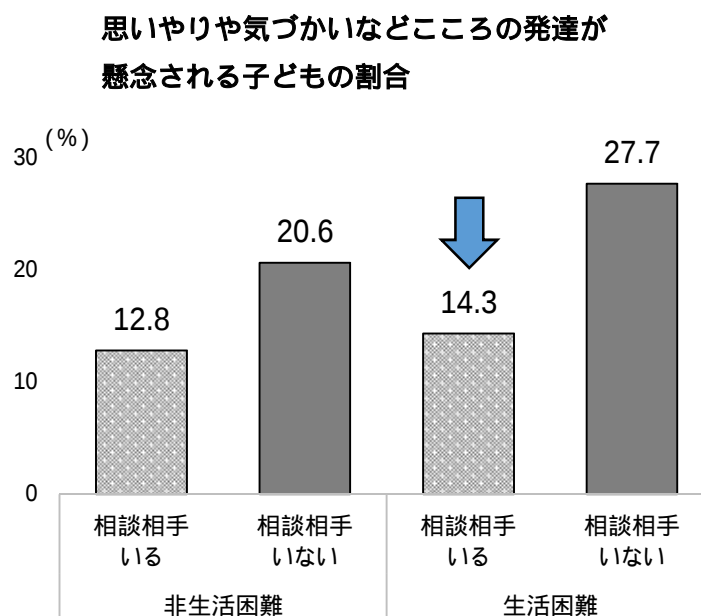
保護者が困ったときに相談できる相手の有無と、非生活困難・生活困難についてグループ分けをすると、以下の表の通りです。

	相談相手		計
	有(いる)	無(いない)	
非生活困難	3,041 人 (72.4%)	126 人 (3.0%)	3,167 人
生活困難	922 人 (21.9%)	113 人 (2.7%)	1,035 人
計	3,963 人	239 人	4,202 人 (100%)

次に、このグループごとで子どもの健康がどのように異なるかについて検討しました。

(1) 思いやりや気づかいなどこころの発達

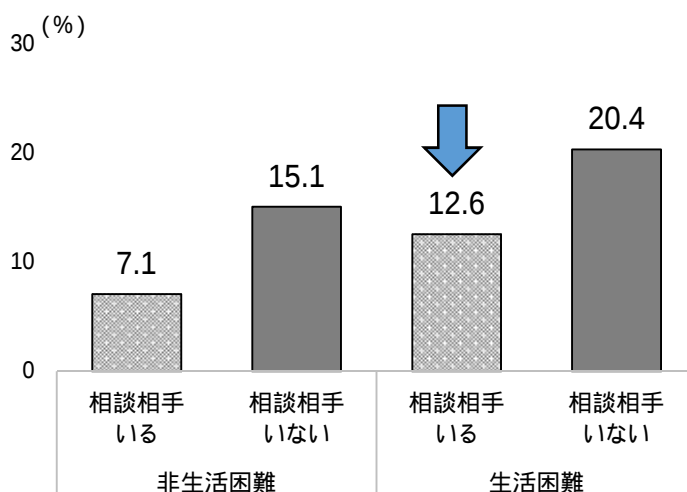
思いやりや気づかいなどこころの発達が懸念される子どもの割合を見ると、生活困難であっても保護者に相談相手がいるグループは、非生活困難で保護者に相談相手がいないグループより少なくなっています。



(2) 麻しん・風しんの予防接種（自己負担なし）

麻しん・風しん混合ワクチンの予防接種（自己負担なし）をしていない子どもの割合を見ると、生活困難であっても保護者に相談相手がいるグループは、非生活困難で保護者に相談相手がいないグループより少なくなっています。

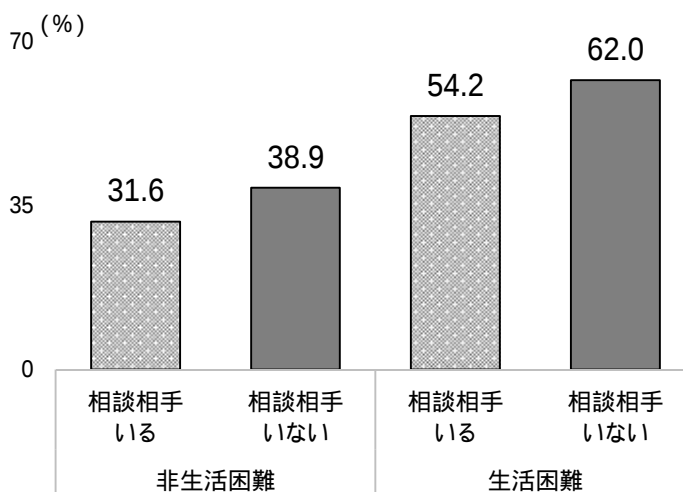
麻しん・風しん混合ワクチン（自己負担なし）
未接種の子どもの割合



(3) インフルエンザの予防接種（自己負担あり）

インフルエンザワクチンの予防接種（自己負担あり）をしていない子どもの割合を見ると、生活困難で保護者に相談相手がいないグループが最も高くなっています。

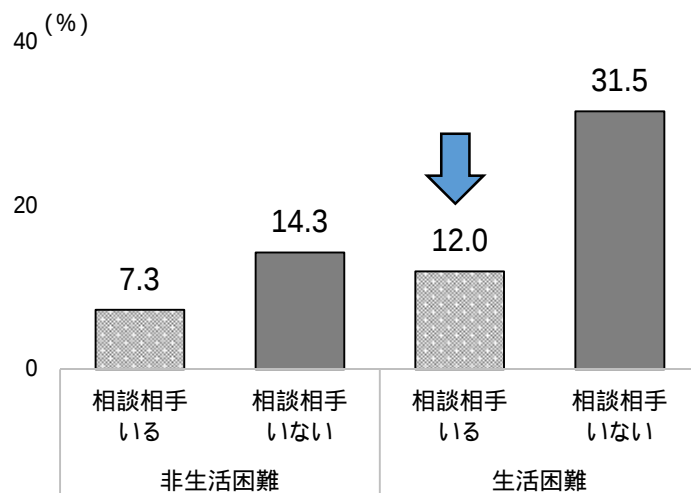
インフルエンザワクチン未接種の子どもの割合



(4) 逆境を乗り越える力（自己肯定感、自己制御能力など）

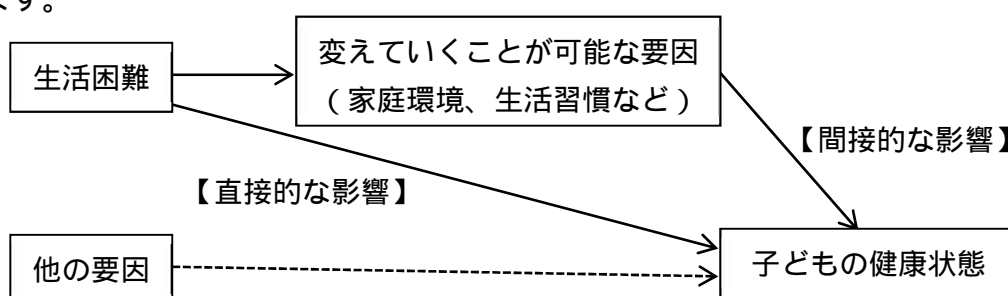
逆境を乗り越える力が低い群に該当する子どもの割合を見ると、生活困難であっても保護者に相談相手がいるグループは、非生活困難で保護者に相談相手がないグループより少なくなっています。

逆境を乗り越える力が低い子どもの割合



4 子どもの健康状態と「生活困難」についての詳しい分析(媒介分析)

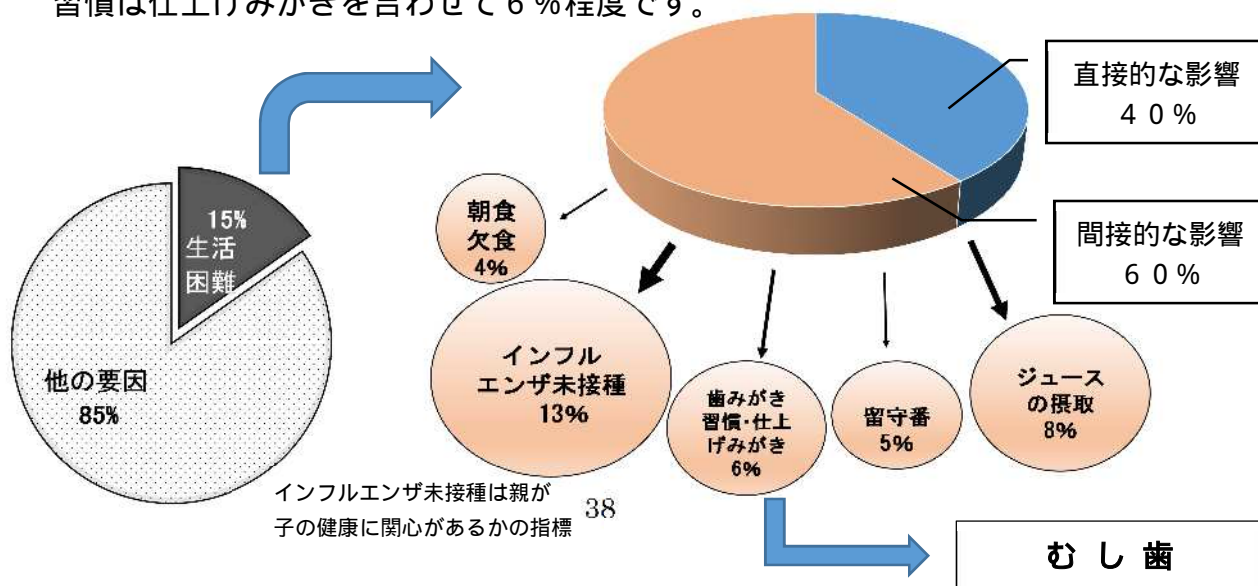
子どもを取り巻く家庭環境や生活習慣を変えることで「生活困難」の影響を軽減することが可能かどうかについて分析を試みました。具体的には、子どもの健康状態に対して「生活困難」と「変えていくことが可能な要因(家庭環境や生活習慣など)」がどのように、かつどの程度影響を及ぼしているかを数値化しました。以下の図のように、「生活困難」が子どもの健康状態に影響を与えているときに、何%が「生活困難」から直接引き起こされるものか(直接的な影響)、何%が家庭環境や生活習慣などの「変えていくことが可能な」要因を経て起きているか(間接的な影響)を明らかにしました。今後、「生活困難」と子どもの健康状態との連鎖の解消に向け、この「変えていくことが可能な要因(間接的な影響)」に対して有効な施策を検討していきます。



本報告書では、子どもの健康状態として重要と考えられる、むし歯、朝食欠食、逆境を乗り越える力の低さの3点を取り上げ、詳しい分析を行いました。

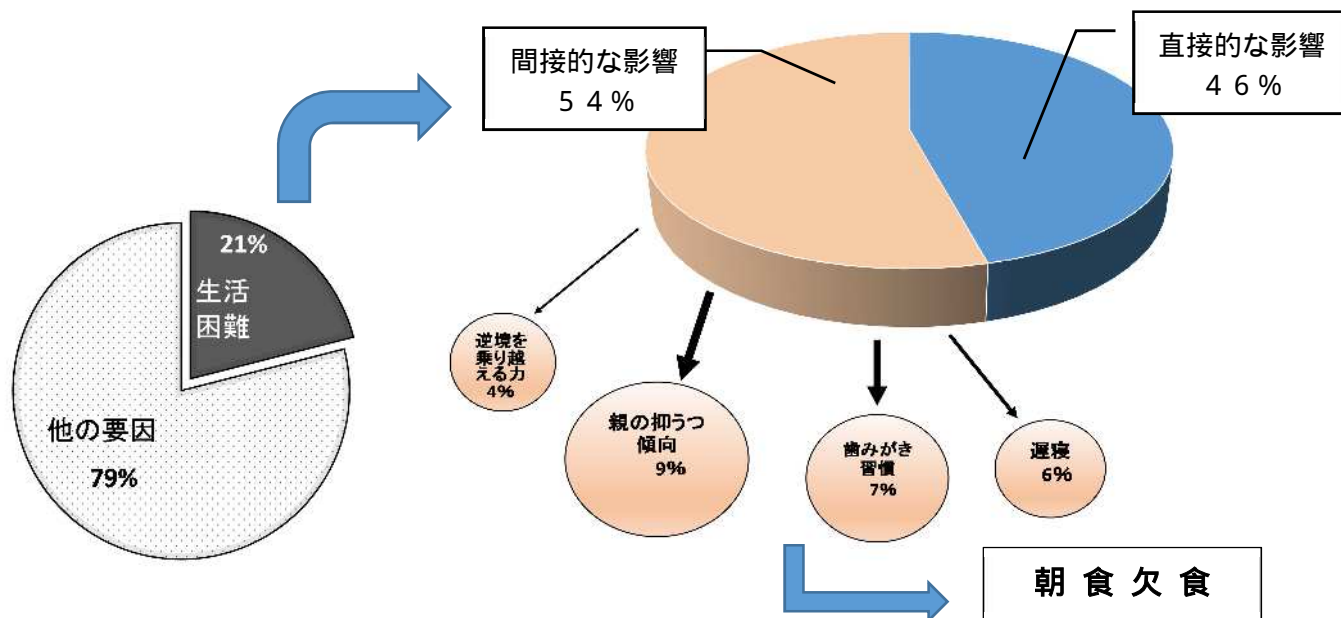
(1) むし歯

むし歯が5本以上あることと生活困難に関する分析を行った結果、生活困難が子どもの5本以上のむし歯に与える影響の割合は約15%でした。このうち、生活困難から直接引き起こされるもの(直接的な影響)が40%で、「変えていくことが可能な」要因を経て起きているもの(間接的な影響)が60%とわかりました。間接的な影響60%のうち、割合が大きかった項目はインフルエンザワクチン未接種13%、ジュースの摂取8%、留守番5%、朝食欠食4%で、歯みがき習慣は仕上げみがきを合わせて6%程度です。



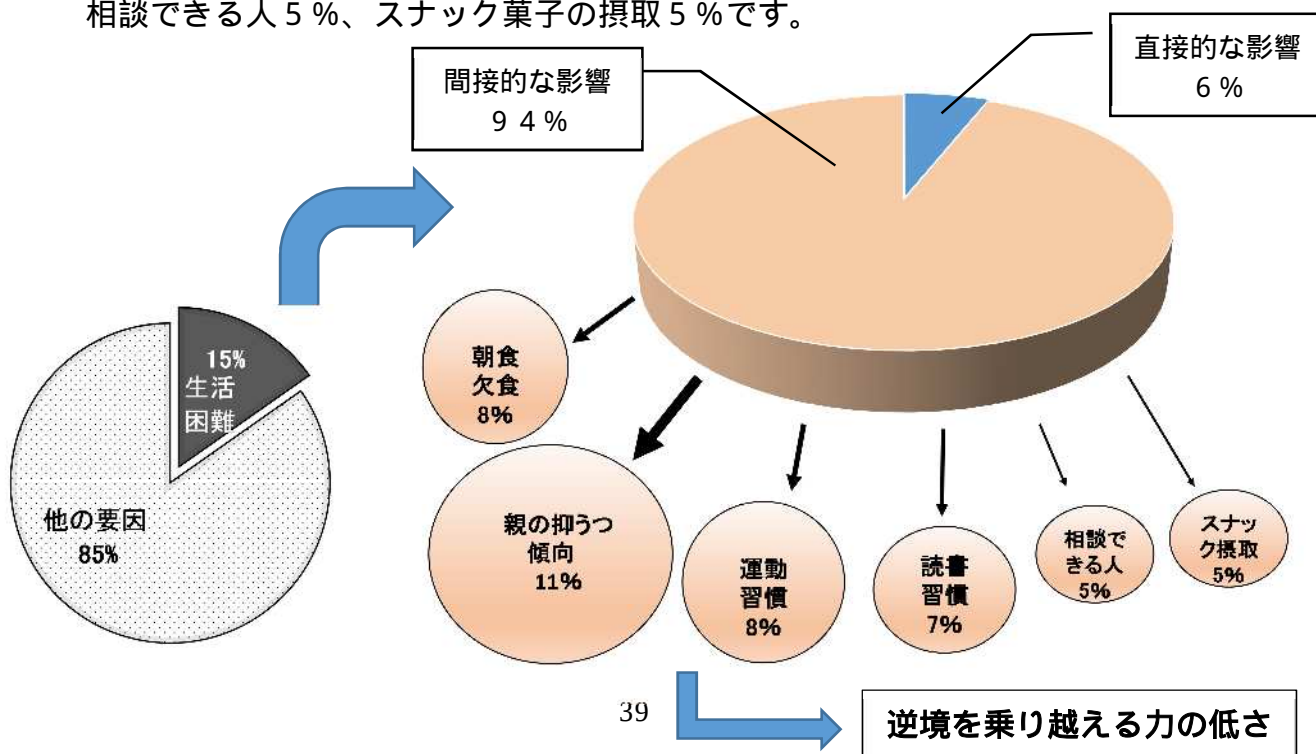
(2) 朝食欠食

生活困難が子どもの朝食欠食（朝食を毎日食べる習慣がない）に与える影響の割合は約21%でした。このうち、直接的な影響が46%で、間接的な影響が54%とわかりました。間接的な影響54%のうち、割合が大きかった項目は親の抑うつ傾向9%、歯みがき習慣7%、遅寝6%、逆境を乗り越える力4%です。



(3) 逆境を乗り越える力（自己肯定感、自己制御能力など）の低さ

生活困難が子どもの逆境を乗り越える力（自己肯定感、自己制御能力など）に与える影響の割合は約15%でした。このうち、直接的な影響が6%で、間接的な影響が94%とわかりました。間接的な影響94%のうち、割合が大きかった項目は、親の抑うつ傾向11%、朝食欠食8%、運動習慣8%、読書習慣7%、相談できる人5%、スナック菓子の摂取5%です。



5 考察

- (1) 生活困難世帯の子どもは、むし歯の本数が多い傾向にあり、予防接種（自己負担なし）も受けていない割合が多い。

本調査の結果をみると、生活困難世帯の子どもはむし歯であることが多く、特に5本以上のむし歯がある割合は、非生活困難世帯の約2倍となっています。また、麻しん・風しんの予防接種（自己負担なし）を受けていない割合も、非生活困難世帯の約2倍です。子どもの医療費が無料（公費負担）であることを踏まえると、経済的な理由だけでなく、保護者が子どもの健康に関心があるか否か、そのための時間を確保できるかどうかなどの要因も影響していると考えられ、今後さらなる調査が必要です。

- (2) 運動や読書習慣により、生活困難な状況においても逆境を乗り越える力（自己肯定感など）を培える可能性があります。

生活困難世帯の子どもは週1回以上放課後の時間帯に留守番をし、夕食を子どもたちだけで食べ、甘いジュースを飲み、テレビ・動画を3時間以上見て過ごし、運動をせず、本を読んでいないといった傾向があります。一方、詳しい分析（媒介分析）から（P39）逆境を乗り越える力（自己肯定感、自己制御能力など）には、運動や読書習慣などが影響を与えていることが明らかになりました。このことから、運動習慣や読書習慣を身につけることで、生活困難な状況においても逆境を乗り越える力を培える可能性が見えてきました。

- (3) 困ったときに保護者に相談できる相手がいると、生活困難の影響を軽減できる可能性があります。

保護者が困ったときに相談できる相手がいる世帯は、保護者に相談相手がない世帯よりも、子どもに健康問題があらわれる割合が少なくなっています。例えば、生活困難で相談相手がいる世帯の麻しん・風しん混合ワクチンの未接種率（P36）は、非生活困難で相談相手がない世帯のそれよりも低くなっています。また、逆境を乗り越える力（P37）でも同じ傾向が見られました。今後、保護者が困ったとき相談できる相手がない生活困難世帯は、どのような特徴を持った世帯であるかをさらに分析する必要がありますが、相談相手がいる保護者を増やしていくことで、生活困難の影響を軽減できる可能性が明らかになりました。

- (4) 子どもを取り巻く家庭環境や生活習慣を変えていくことで、子どもの貧困の連鎖を軽減できる可能性が確認できました。

子どもの健康状態と生活困難との関連を詳しく分析したところ（P38～39）生活困難が子どもの健康状態に与える影響は確認されたものの、同時に、子どもを取り巻く家庭環境や生活習慣などの「変えていくことが可能な」様々な要因がもたらす影響がより大きいことが明らかになりました。つまり、家庭環境や生活習慣などを変えていくことによって、生活困難の影響を軽減し、子どもの健康を守り育てて

いくことが可能であるということです。

以上が今回の当区においての調査結果となります。従って、他の地域においても同様の結果が得られるという確証はありません。今後、他の自治体で行われる調査にも注視し、検証していきます。

6 調査を終えて

調査結果を「未来へつなぐあだちプロジェクト」に早急に反映していきます。

本調査によって明らかになった区内小学1年生の健康状態や生活状況から、生活困難は子どもたちの健康に少なからず悪影響を与えていることが確認できました。

しかしながら同時に、子どもを取り巻く家庭環境や生活習慣など「変えていくことが可能な要因」が子どもの健康に与える影響も50%以上あることが明らかになりました。保護者に困ったときの相談相手があると、子どもに健康問題があらわれる割合が少なくなるというのもその一例です。

今後区では、たとえ世帯の経済状態を即座に改善することができないとしても、子どもを取り巻く家庭環境や生活習慣を変えていくことによって、できる限り生活困難の影響軽減をはかるなど、将来の夢や希望を叶える大切な土台となる子どもの健康を守り育てる施策の充実を図ってまいります。

また、子どもの成長過程において、いつの時点でどのような対策を講じるべきかを明確にしていくためにも、今後、一部の他学年に対して同様の調査を実施する予定です。

区では、未来を担う子どもたちが真に自立して、自らの人生を切り開いていく力を身につけて成長できるよう、精緻なデータによって実態を掴み、全庁を挙げ、より有効かつ必要な施策に集中的・重点的に取り組んでまいります。



足立区
足立区教育委員会

足立区 子どもの健康・生活実態調査

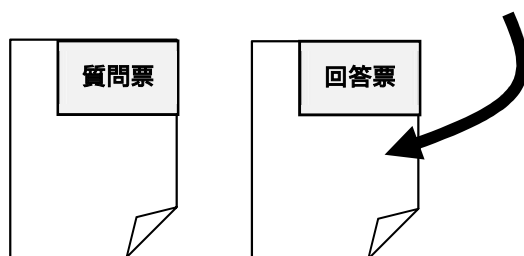
足立区立小学校に在学する 1 年生の保護者の皆様へ

名前は無記入でお願いします。この調査で個人を特定することはありません。

アンケートは統計的に処理し、統計の報告以外の目的には使用しません。

また、皆様の^{みなさま}ご回答を、^{かいとう}学校関係者が^{がっこうかんけいしゃ}閲覧することは^{えつらん}ありません。

- ◆ アンケートの回答は、この^{しつもんひょう}質問票に記入せず、^{べっし}別紙の^{かいとうひょう}回答票にのみご記入ください。



- ◆ 一部、お子さまのこれまでの^{けんこうしんだん}健康診断の結果をお聞きする^{しつもん}質問がございます。ご回答の前に、この質問票を持ち帰った^{ぼしけんこうてい}お子さまの母子健康手帳を、^{てもと}お手元にご準備ください。
- ◆ アンケートに回答いただきましたら、^{どうふう}同封の^{ていしゅつようふうとう}提出用封筒に^{かいとうひょうのみ}回答票のみを入れ、^{しめきりび}封をして^{しめきりび}締切日まで^{がっきゅうたんにん}に学級担任にご提出^{ていしゅつ}ください（締切日は提出用封筒に記載しています）。
- ◆ 本調査につきましては、^{こくりつせいいくいりょうけんきゅう}国立成育医療研究センター社会医学研究部が^{じょうほうしゅり}情報処理を取り扱います。成育医療研究センターには個人が^{しきべつ}識別できないよう^{せいりばんごう}整理番号を^{きさい}記載した回答票のみを^{ていきょう}提供します。
お忙しい折おそれ入りますが、趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

足立区 足立区教育委員会

国立研究開発法人国立成育医療研究センター 社会医学研究部

この調査は足立区が行っており、学校は^{はいふとう}配付等のみの協力です。

調査に関することや回答にあたってご^{ふめい}不明な点など、

お問い合わせは、全て足立区の下記担当までお願いいたします。

足立区こころとからだの健康づくり課 電話 03-3880-5433

問 1 はじめに、この質問票を持ち帰ったお子さんについて、お答え下さい。 【n = 4291】

(1) お子さんの性別はどちらですか。

1. 男 51.2% 2. 女 48.7

回答なし 0.1

(2) お子さんの生年月はいつですか。

あてはまる年を選んで、月を記入してください。

1. 平成 20 年 → () 月
2. 平成 21 年

問 2 この質問票の回答者についてお聞きします。お子さんからみてあてはまる番号を選んでください。

1. お母さん <u>90.5%</u>	3. おばあさん <u>0.2</u>	5. おじ、おばなど親族 <u>0</u>
2. お父さん <u>7.5</u>	4. おじいさん <u>0.1</u>	6. その他 <u>0.2</u>

回答なし 1.4

問 3 この質問票を持ち帰ったお子さんのご家族について、あてはまる方の番号すべてを選んでください。

ご家族とは、家計と一緒にし、ふだんひとつの家屋で生活している方を指します。

お母さんとお父さんとのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

単身赴任・入院・入所の方を含め、家計と一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

【下記表内の○%は「あてはまる方」の%を指す】

1. お母さん <u>99.0%</u>	5. お母さんの母親 <u>5.8%</u>	9. お母さんまたは お父さんの兄弟・姉妹 → () 人 <u>1.9%</u>
2. お父さん <u>90.6%</u>	6. お母さんの父親 <u>3.4%</u>	
3. 兄・姉 → () 人 <u>47.5%</u>	7. お父さんの母親 <u>3.8%</u>	
4. 弟・妹 → () 人 <u>42.8%</u>	8. お父さんの父親 <u>2.3%</u>	10. その他 → () 人 <u>1.1%</u>

お子さんの兄弟・姉妹の人数には、この質問票を持ち帰ったお子さんを含みません。

【問 3 の回答状況】同居家族（対象児童除く）の人数

1 人： 2.6	4 人： 22.2	7 人： 0.8
2 人： 18.5	5 人： 6.7	8 人： 0.3
3 人： 46.6	6 人： 2.2	9 人： 0.1
		不明・回答なし： 0.2

【問 3 の回答状況】きょうだいの人数

1 人： 51.2%	5 人： 0.2
2 人： 22.4	6 人： 0.1
3 人： 4.3	きょうだいがない
4 人： 0.9	・回答なし： 20.9

(ア)上の質問で選んだご家族のうち、現在、単身赴任をされている方はいますか。

単身赴任している家族がいる 2.5%

→ 上の表から、あてはまる方の番号を選んでください。()

単身赴任している家族はいない 92.8

回答なし 4.6

【問 3 (ア)の回答状況】

誰が単身赴任しているか。

母親	: 0%
父親	: 2.1
姉・兄	: 0.1
母方の祖父	: 0

(イ)お子さんのお母さんとお父さんの婚姻関係について、あてはまるものをひとつ選んでください。

既婚・事実婚 <u>88.5%</u>	未婚 <u>1.3</u>	離婚 <u>6.5</u>	死別 <u>0.6</u>	その他 () <u>0.4</u>
---------------------	---------------	---------------	---------------	--------------------

回答なし 2.7

問 4 お子さんが、小学校入学前に通っていたところをお答えください。

小学校に入学する直前に通っていた施設を、ひとつだけお答えください。

1. 足立区立の認可保育所・認定こども園 <u>26.1%</u>	4. その他 <u>3.6</u>
2. 足立区内にある、私立の認可保育所・認定こども園 <u>14.0</u>	(認証保育所、足立区外の保育園、託児所など)
3. 私立幼稚園 <u>55.4</u>	5. 通っていたところはない <u>0.4</u>
	回答なし <u>0.4</u>

問 5 お子さんの食事についてお聞きします。過去1か月の状況で、一番近いと思うものを選んでください。

(1) お子さんは朝食を食べますか。あてはまる番号を選んでください。

1. 毎日食べる <u>94.3%</u>	2. ときどき食べない <u>4.5</u>	3. ほとんど食べない <u>1.0</u>	4. 全く食べない <u>0.1</u>
			回答なし <u>0.2</u>



(ア)上の質問(1)で【1.毎日食べる】【2.ときどき食べない】【3.ほとんど食べない】を選んだ方にお聞きします。
お子さんの朝食がお菓子だけ(例：チョコレートなど)になることがありますか。

毎回 <u>0.6%</u>	ときどき <u>2.0</u>	ほとんどない <u>6.5</u>	全くない <u>79.4</u>
			回答なし <u>3.1</u>

(イ)前の質問(1)で【1.毎日食べる】【2.ときどき食べない】【3.ほとんど食べない】を選んだ方にお聞きします。
朝食に野菜が含まれていますか。

毎回 <u>19.3%</u>	ときどき <u>43.8</u>	ほとんどない <u>25.9</u>	全くない <u>8.3</u>
			回答なし <u>2.8</u>

(2) お子さんは、学校の給食をどのくらい食べますか。

1. ほぼ毎日残さず食べる <u>85.2%</u>	2. ほぼ毎日残す <u>8.9</u>	3. わからない <u>5.4</u>
		回答なし <u>0.6</u>

(3) お子さんのふだんの夕食のとり方について、あてはまる番号を選んでください。

1. 家族と一緒に食べる <u>96.0%</u>	2. 子どもたちだけで食べる <u>3.1</u>	3. ひとりで食べる <u>0.7</u>	4. 食べない <u>0</u>
			回答なし <u>0.2</u>

(ア)上の質問で【1. 家族と一緒に食べる】を選んだ方にお聞きします。
お子さんが夕食を子どもたちだけで食べたり、あるいはひとりで食べたりすることはどのくらいありますか。

ときどきある <u>11.8%</u>	ほとんどない <u>19.9</u>	全くない <u>63.9</u>
		回答なし <u>4.4</u>

(4) あなたのご家庭では、お子さんの食事をつくる(料理する)ことがどのくらいありますか。

目玉焼きなどの簡単な料理を含めて、あてはまる番号を選んでください。

1. ほとんど毎日 <u>82.2%</u>	4. 月に数日(休日など) <u>4.2</u>
2. 週に4～5日程度 <u>6.1</u>	5. ほとんどつづらない <u>5.6</u>
3. 週に2～3日程度 <u>1.5</u>	回答なし <u>0.3</u>

(5) お子さんは、ふだんの朝食・夕食で野菜料理（いも類はのぞきます）をどのくらい食べますか。

野菜料理とは、サラダ・おひたし・野菜の煮物、野菜いため、具だくさんのみそ汁などです。

1. 毎日朝夕どちらも <u>15.3%</u>	4. 週に2～3食 <u>9.5</u>
2. だいたい朝夕どちらも <u>22.1</u>	5. 週に1食以下 <u>1.5</u>
3. 毎日朝夕どちらか <u>51.2</u>	回答なし <u>0.4</u>

(6) お子さんは、食事のとき何を一番はじめに食べますか。

1. ごはん・パンなど（主食） <u>24.8%</u>	3. 野菜 <u>11.5</u>	5. 決まっていない <u>29.4</u>
2. 肉類、魚類 <u>23.0</u>	4. 汁もの・スープ <u>9.6</u>	6. わからない <u>0.9</u>
回答なし <u>0.7</u>		

(7) お子さんは、砂糖の入ったジュースをどのくらい飲みますか。

1. 毎日2回以上 <u>7.7%</u>	4. 週に2～3回 <u>27.9</u>
2. 毎日1回 <u>13.1</u>	5. 週に1回 <u>20.2</u>
3. 週に4～6回 <u>11.1</u>	6. 月に数回程度、または全く飲まない <u>19.8</u>
回答なし <u>0.3</u>	

(8) お子さんのふだんのお菓子のとり方について、あてはまる番号を選んでください。

1. 決まった時間に食べる <u>68.0%</u>	2. 食べない <u>3.9</u>	3. 自由に食べる <u>27.7</u>
回答なし <u>0.4</u>		

(9) 夕食の30分前に、お子さんがおなかがすいていると訴えたとき、どうすることが多いですか。

1. 夕食まで待たせる <u>59.5%</u>
2. 夕食まで待たせようとするが、待てないので軽い食べ物を与える <u>34.6</u>
3. 夕食まで待たせることなく、軽い食べ物を与える <u>5.2</u>
回答なし <u>0.7</u>

問6 お子さんの健康状態についてうかがいます。

(1) お子さんは、小学校に入学してから今まで学校を休みましたか。

休みには、学校自体が臨時休業となった場合は含みません。（学級閉鎖、台風など）

1. 休んだ <u>60.7%</u>	→ (ア)左の質問で【1. 休んだ】を選んだ方にお聞きします。 休んだ理由としてあてはまるものをすべて選んでください。	
2. 休まなかった <u>38.8</u>		
3. わからない <u>0.3</u>		
回答なし <u>0.2</u>		
	病気やけが <u>52.6%</u>	本人が行きたがらなかった <u>2.3</u>
	きびき 忌引など家庭の理由 <u>7.8</u>	その他の理由 <u>4.0</u>

(2) お子さんは、これまでに病气やけがで医療機関に入院したことがありますか。

1. ある <u>24.4%</u> (ア)入院の理由 _____	2. ない <u>74.3</u>
-----------------------------------	-------------------

回答なし 1.4

問7 お子さんの発育についてうかがいます。母子健康手帳などを参考にご記入ください。

(1) お子さんの出生時の妊娠週数、体重を教えてください。 _____週 出生体重 _____g
回答者平均： 38.8週 3019g

(2) お子さんの3歳児健診のころの身長・体重を教えてください。 身長 _____cm 体重 _____kg
回答者平均： 92.4cm 13.6kg

(3) お子さんが小学校に入学する^{ぜんねんど}前年度に受けたワクチンについて、あてはまる番号をすべて選んでください。

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. MR（麻しん風しん ^{こんごう} 混合）ワクチン（公費） <u>90.8%</u> | 2. インフルエンザ（自己負担） <u>61.9</u> |
|---|------------------------------|

問 8 お子さんの歯や、歯みがきの様子についてうかがいます。

(1) 1 日あたりどれくらい歯みがきをしますか。

1. 1 日 2 回以上	2. 1 日 1 回	3. 毎日 はみがかない	4. わからない
<u>74.8%</u>	<u>22.7</u>	<u>1.8</u>	<u>0.1</u>
回答なし <u>0.6</u>			

(2) ^{ほごしや}保護者の方が、お子さんの仕上げみがきをすることがありますか。 1. ある 84.6% 2. ない 14.9

回答なし 0.5

(3) お子さんには現在、むし歯がありますか。または過去にむし歯がありましたか。

- | |
|--|
| 1. ある <u>16.2%</u> |
| 2. あった（ ^{ちりょうず} 治療済み） <u>38.6</u> |
| 3. ない <u>44.3</u> |
| 4. わからない <u>0.3</u> |
| 回答なし <u>0.5</u> |

→ (ア)左の質問で【1. ある】を選んだ方にお聞きします。

^{げんざい}現在、むし歯を^{ちりょう}治療中ですか。

はい	いいえ	わからない
<u>11.0%</u>	<u>4.8</u>	<u>0.2</u>

現在むし歯なし・回答なし 84.0

問 9 お子さんのふだんの生活についてうかがいます。

学校やその他の場所での様子については、お子さんにもたずねながら、一緒にお答えください。

(1) お子さんが^{へいじ}平日に起きる時間はだいたい決まっていますか。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 決まっている | 2. 決まっていない |
| <u>98.0%</u> | <u>1.7</u> |

回答なし 0.3

(ア)上の質問で【1. 決まっている】を選んだ方にお聞きします。

お子さんが起きる時間は何時頃ですか。

_____時	_____分頃
--------	---------

【問 9(1)(ア)の回答状況】

6 時前 : 1.0 %
 6 時台 : 50.8
 7 時台 : 45.9
 8 時台 : 0.1
 回答なし : 2.2

(2) お子さんが平日に寝る時間はだいたい決まっていますか。

1. 決まっている	2. 決っていない
<u>92.1%</u>	<u>7.5</u>
回答なし <u>0.4</u>	

(ア)上の質問で【1. 決まっている】を選んだ方にお聞きします。

お子さんが寝る時間は何時頃ですか。24 時間単位でお答えください。

(例： 午後 9 時は 21 時、深夜 12 時は 0 時)

_____時	_____分頃
--------	---------

【問 9(2)(ア)の回答状況】

20 時前 : 0.7 %
 20 時台 : 14.1
 21 時台 : 64.7
 22 時以降 : 12.6
 回答なし : 8.0

(3) お子さんは、30 分以上からだを動かす遊びや習い事に行くことが、1 週間あたりでどれくらいありますか。

(例： ボール遊び・自転車・サッカー・野球・空手・剣道・体操・パレエ・水泳 など)

1. ほとんどしない・全くしない <u>10.0%</u>	4. 5 ～ 6 回 <u>10.6</u>
2. 1 ～ 2 回 <u>45.2</u>	5. 7 回以上・ほぼ毎日 <u>7.5</u>
3. 3 ～ 4 回 <u>26.3</u>	回答なし <u>0.5</u>

(4) お子さんは、平日の放課後、子どもだけ(きょうだい含む)で1時間以上の留守番をすることがありますか。

1. 留守番をしたことはない	2. 年に 1 ～ 11 回	3. 月に 1 ～ 3 回	4. 週に 1 回以上
<u>51.7%</u>	<u>26.6</u>	<u>10.9</u>	<u>10.2</u>

回答なし 0.6

(5) お子さんは、平日にテレビや DVD、またはインターネット上の動画をスマートフォンやタブレット等で

どのくらい見ていますか。お子さんにもたずねながら、自宅以外の状況も含めてお答えください。

また、1 日にコンピュータゲーム(テレビゲーム、パソコンゲーム、携帯ゲームなど)をどのくらいしますか。

(ア)テレビ番組や動画、(イ)コンピュータゲームそれぞれについて、あてはまる番号を選んでください。

(ア)テレビ番組や動画を見る時間	
1. 見ない <u>1.5%</u>	5. 3 ～ 4 時間未満 <u>9.6</u>
2. 1 時間未満 <u>18.5</u>	6. 4 ～ 5 時間未満 <u>2.0</u>
3. 1 ～ 2 時間未満 <u>42.9</u>	7. 5 時間以上 <u>0.6</u>
4. 2 ～ 3 時間未満 <u>24.4</u>	回答なし <u>0.5</u>

(イ)コンピュータゲームをする時間	
1. しない <u>37.0%</u>	5. 3 ～ 4 時間未満 <u>0.8</u>
2. 1 時間未満 <u>40.9</u>	6. 4 ～ 5 時間未満 <u>0.2</u>
3. 1 ～ 2 時間未満 <u>17.2</u>	7. 5 時間以上 <u>0.1</u>
4. 2 ～ 3 時間未満 <u>2.9</u>	回答なし <u>0.9</u>

(6) お子さんは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。お子さんにもたずねながら、自宅以外の状況も含めてお答えください。

また、お母さんやお父さんは何冊くらい読みましたか。(ア)お子さん、(イ)お母さん、(ウ)お父さんそれぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

(ア)お子さん	(イ)お母さん	(ウ)お父さん
1. 読まなかった <u>9.3%</u>	1. 読まなかった <u>46.8%</u>	1. 読まなかった <u>55.7%</u>
2. 1冊 <u>8.9</u>	2. 1冊 <u>18.8</u>	2. 1冊 <u>14.8</u>
3. 2～3冊 <u>22.5</u>	3. 2～3冊 <u>20.2</u>	3. 2～3冊 <u>17.3</u>
4. 4～7冊 <u>23.2</u>	4. 4～7冊 <u>7.1</u>	4. 4～7冊 <u>5.5</u>
5. 8～11冊 <u>12.4</u>	5. 8～11冊 <u>2.1</u>	5. 8～11冊 <u>1.7</u>
6. 12冊以上 <u>22.3</u>	6. 12冊以上 <u>3.8</u>	6. 12冊以上 <u>2.6</u>
回答なし <u>1.4</u>	回答なし <u>1.2</u>	回答なし <u>2.4</u>

お母さん、お父さんがお子さんと同居していない場合は、何も書かないままで結構です。

本には、電子媒体の書籍も含めてお答えください。

雑誌やマンガは、内容に関わらず、「本」には含めないでください。

問 10 過去1か月の間のお子さんの様子にあてはまる番号を選んでください。

この質問はお子さんが成長する過程にあわせ、
続けてお聞きする予定です。
あまり深く考えずに、直感でお答えください。

		まったくこのとおり	だいたいこのとおり	少し合っている	ほとんど合っていない	まったくちがう	回答なし
(1)	将来について、明るい面を言うことができる	1 <u>37.3%</u>	2 <u>40.2</u>	3 <u>16.5</u>	4 <u>4.3</u>	5 <u>0.9</u>	<u>0.8</u>
(2)	自分のベストを尽くそうとする	1 <u>25.6%</u>	2 <u>38.8</u>	3 <u>27.0</u>	4 <u>6.9</u>	5 <u>0.9</u>	<u>0.8</u>
(3)	馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる	1 <u>7.1%</u>	2 <u>29.2</u>	3 <u>38.1</u>	4 <u>20.0</u>	5 <u>4.8</u>	<u>0.9</u>
(4)	他人にきちんと挨拶することができる	1 <u>24.4%</u>	2 <u>40.3</u>	3 <u>25.7</u>	4 <u>7.6</u>	5 <u>1.1</u>	<u>1.0</u>
(5)	大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる	1 <u>11.7%</u>	2 <u>27.8</u>	3 <u>35.0</u>	4 <u>19.3</u>	5 <u>5.4</u>	<u>0.8</u>
(6)	必要な時には適切にアドバイスを求めることができる	1 <u>15.4%</u>	2 <u>38.7</u>	3 <u>34.3</u>	4 <u>8.9</u>	5 <u>1.9</u>	<u>0.9</u>
(7)	将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる	1 <u>13.0%</u>	2 <u>34.9</u>	3 <u>33.9</u>	4 <u>14.0</u>	5 <u>3.2</u>	<u>1.0</u>
(8)	自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる	1 <u>40.2%</u>	2 <u>37.0</u>	3 <u>16.4</u>	4 <u>4.7</u>	5 <u>1.0</u>	<u>0.7</u>

問 11 お子さんのお母さん、お父さんの健康状態についてうかがいます。

お母さんとお父さんのそれぞれについて回答用紙にご記入ください。ご不在の場合は空欄としてください。

(1) お子さんのお母さん、お父さんのご年齢、現在の身長・体重を教えてください。

この質問はお子さんの体格との関連を調べるためにお聞きしています。できるだけ正確にお答えください。

お母さん	お父さん
年齢 _____ 歳	年齢 _____ 歳
身長 _____ cm	身長 _____ cm
体重 _____ kg	体重 _____ kg
平均年齢 <u>38.1 歳</u>	平均年齢 <u>40.4 歳</u>

(2) お子さんのお母さん、お父さんはタバコを習慣的に吸いますか。または過去に吸っていましたか。

お母さん	お父さん
1. 現在も習慣的に吸っている <u>15.7%</u>	1. 現在も習慣的に吸っている <u>43.4%</u>
2. 以前吸っていたが今はやめている <u>26.8</u>	2. 以前吸っていたが今はやめている <u>30.5</u>
3. 今まで習慣的に吸ったことはない <u>56.4</u>	3. 今まで習慣的に吸ったことはない <u>24.7</u>
回答なし <u>1.1</u>	回答なし <u>1.4</u>

(3) 過去 1 年間に、お子さんのお母さん、お父さんは平均してどのくらいアルコールを飲みましたか。

(例: ビール、発泡酒、チューハイ、ウィスキー、焼酎、日本酒、ワイン など)

お母さん	お父さん
1. 毎日 <u>12.4%</u>	1. 毎日 <u>30.9%</u>
2. 1 週間に 5～6 日 <u>7.0</u>	2. 1 週間に 5～6 日 <u>11.1</u>
3. 1 週間に 3～4 日 <u>8.3</u>	3. 1 週間に 3～4 日 <u>10.8</u>
4. 1 週間に 1～2 日 <u>11.7</u>	4. 1 週間に 1～2 日 <u>12.1</u>
5. 1 か月に数回程度 <u>19.3</u>	5. 1 か月に数回程度 <u>14.6</u>
6. ほとんど飲まない、または飲めない <u>39.6</u>	6. ほとんど飲まない、または飲めない <u>19.2</u>
回答なし <u>1.7</u>	回答なし <u>1.4</u>

(4) 過去 1 年間に、お子さんのお母さん、お父さんは 1 週間のうち運動を 10 分間以上続けて行う日は平均して

何日でしたか。健康のために体を動かしたり、体力を維持増進させるための運動についてお答えください。

仕事や日常生活の中で重たいものを運んだり、移動の手段として歩いたりすることはのぞいてください。

お母さん	お父さん
1. 毎日 <u>4.9%</u>	1. 毎日 <u>6.2%</u>
2. 1 週間に 5～6 日 <u>2.7</u>	2. 1 週間に 5～6 日 <u>3.5</u>
3. 1 週間に 3～4 日 <u>6.4</u>	3. 1 週間に 3～4 日 <u>6.5</u>
4. 1 週間に 1～2 日 <u>14.6</u>	4. 1 週間に 1～2 日 <u>17.1</u>
5. 1 か月に数回程度 <u>18.4</u>	5. 1 か月に数回程度 <u>21.4</u>
6. ほとんど行わない <u>51.5</u>	6. ほとんど行わない <u>43.7</u>
回答なし <u>1.5</u>	回答なし <u>1.8</u>

(5) お子さんのお母さん、お父さんは、これまでに医療機関で^{しんだん}診断されたり、^{ちりょう}治療を受けたりした病気やけががありますか。以下の中からあてはまる番号すべてを選んでください。

お母さん		お父さん	
1. 糖尿病 <u>0.6%</u>	10. 不眠症 <u>2.5%</u>	1. 糖尿病 <u>1.8%</u>	10. 不眠症 <u>1.0%</u>
2. 高血圧 <u>2.2%</u>	11. 子宮や卵巣の病気 (がんをのぞく) <u>10.5%</u>	2. 高血圧 <u>5.3%</u>	11. 前立腺など泌尿器の 病気(がんをのぞく) <u>1.8%</u>
3. 心臓の病気 <u>1.5%</u>		3. 心臓の病気 <u>1.7%</u>	
4. 喘息 <u>8.3%</u>		4. 喘息 <u>5.6%</u>	
5. アトピー性皮膚炎 <u>8.3%</u>	12. 悪性腫瘍(がん) <u>1.1%</u>	5. アトピー性皮膚炎 <u>5.4%</u>	12. 悪性腫瘍(がん) <u>0.4%</u>
6. 胃・十二指腸の病気 (がんをのぞく) <u>4.8%</u>	13. 関節炎・リウマチ <u>1.5%</u>	6. 胃・十二指腸の病気 (がんをのぞく) <u>4.9%</u>	13. 関節炎・リウマチ <u>1.0%</u>
7. 肝臓病 (肝炎や肝硬変) <u>0.7%</u>	14. 首や腰の病気 <u>11.6%</u>	7. 肝臓病 (肝炎や肝硬変) <u>1.4%</u>	14. 首や腰の病気 <u>12.6%</u>
8. うつ病や心の病気 <u>5.3%</u>	15. 骨折(事故による 外傷を含む) <u>8.9%</u>	8. うつ病や心の病気 <u>2.9%</u>	15. 骨折(事故による 外傷を含む) <u>13.5%</u>
9. 頭痛 <u>12.3%</u>	16. わからない <u>4.1%</u>	9. 頭痛 <u>4.1%</u>	16. わからない <u>5.4%</u>
	17. その他 ()		17. その他 ()
	<u>11.6%</u>		<u>9.1%</u>

問 12 お子さんのお母さん、お父さんが最後に通った(または在学中の)^{ざいがくちゅう}学校について、あてはまる番号をひとつ選んでください。

例： 高校を卒業した場合は【3. 高校卒】、高校を退学した場合は【2. 高校中退】を選んでください。

^{たんしんふにん}単身赴任やその他の理由で^{べつきょちゅう}別居中の方についても記入してください。

お母さん		お父さん	
1. 中学校卒 <u>2.5%</u>	6. 大学中退 <u>1.5</u>	1. 中学校卒 <u>3.1%</u>	6. 大学中退 <u>2.8</u>
2. 高校中退 <u>4.8</u>	7. 大学卒 <u>19.0</u>	2. 高校中退 <u>6.1</u>	7. 大学卒 <u>34.8</u>
3. 高校卒 <u>28.4</u>	8. 大学院卒 <u>1.0</u>	3. 高校卒 <u>27.7</u>	8. 大学院卒 <u>4.1</u>
4. 専修・専門学校卒 (高校卒業後) <u>21.8</u>	9. その他 <u>0.7</u>	4. 専修・専門学校卒 (高校卒業後) <u>16.4</u>	9. その他 <u>0.5</u>
5. 短大・高専卒 <u>18.5</u>	10. わからない <u>0.1</u>	5. 短大・高専卒 <u>2.4</u>	10. わからない <u>0.1</u>
	回答なし <u>1.8</u>		回答なし <u>2.0</u>

問 13 あなたの家計の経済的状況についてうかがいます。

(1) 前年(2014年)のあなたの家族全員の収入の合計額は、税込みでおおよそいくらでしたか。

家族とは、問3でお聞きした【家計を一緒にし、ふだんひとつの家で生活している方】のことです。

収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

公的な援助手当は除いた額をお答えください。

1. 50万円未満 <u>1.9%</u>	7. 500～600万円未満 <u>15.5</u>
2. 50～100万円未満 <u>1.1</u>	8. 600～750万円未満 <u>15.2</u>
3. 100～200万円未満 <u>3.5</u>	9. 750～1000万円未満 <u>14.7</u>
4. 200～300万円未満 <u>4.9</u>	10. 1000万円以上 <u>8.4</u>
5. 300～400万円未満 <u>10.7</u>	11. わからない <u>4.8</u>
6. 400～500万円未満 <u>13.8</u>	回答なし <u>5.5</u>

(2) 過去1年間で、以下の手当や援助等を受けたことがありますか。

	受けている	受けたことがある	受けたことはない	答えたくない	回答なし
(ア) 児童手当	1 <u>83.5%</u>	2 <u>1.7</u>	3 <u>10.7</u>	4 <u>0.7</u>	<u>3.5</u>
(イ) 就学援助・就学奨励 1	1 <u>20.5%</u>	2 <u>2.2</u>	3 <u>64.8</u>	4 <u>1.5</u>	<u>11.0</u>
(ウ) 児童扶養手当・児童育成手当(育成手当) 2	1 <u>8.6%</u>	2 <u>1.3</u>	3 <u>75.3</u>	4 <u>1.7</u>	<u>13.1</u>
(エ) 障害や難病の手当 3	1 <u>1.6%</u>	2 <u>0.4</u>	3 <u>81.7</u>	4 <u>1.8</u>	<u>14.4</u>
(オ) 生活保護	1 <u>1.7%</u>	2 <u>0.5</u>	3 <u>81.8</u>	4 <u>1.8</u>	<u>14.1</u>
(カ) 公的年金(老齢年金)	1 <u>0.8%</u>	2 <u>0.3</u>	3 <u>82.4</u>	4 <u>1.8</u>	<u>14.7</u>
(キ) 公的年金(遺族年金、障害年金)	1 <u>0.8%</u>	2 <u>0.3</u>	3 <u>82.6</u>	4 <u>1.7</u>	<u>14.4</u>
(ク) 離婚後の配偶者からの養育費	1 <u>1.7%</u>	2 <u>1.0</u>	3 <u>81.0</u>	4 <u>1.9</u>	<u>14.4</u>

- 学校給食費や学用品費等の支払いにお困りの保護者の方に対して、申請にもとづき、その費用の一部を援助する制度です。
- 「児童扶養手当」及び「児童育成手当(育成手当)」とは、ひとり親世帯等(父または母が重度障がい者の場合を含む)で、18歳に達した年度末(中度以上の障がいのある児童は20歳)までの児童を養育している方に支給される手当です。15歳までを対象とした「児童手当」とは異なります。
- 障害や難病を対象とした手当には、児童育成手当(障害手当)、特別児童扶養手当、特別障害者手当、難病患者福祉手当、障がい者福祉手当(旧名称：心身障害者福祉手当)などがあります。

(3) 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。

あてはまるものをすべて選んでください。

1. 子どもの年齢に合った絵本や本 <u>2.4</u> 2. 子ども用のスポーツ用品・ぬいぐるみ・おもちゃ <u>1.3</u> 3. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所 <u>3.3</u> 4. 洗濯機 <u>0.2</u> 5. 炊飯器 <u>0.3</u> 6. 掃除機 <u>0.3</u> 7. 暖房機器 <u>0.6</u>	8. 冷房機器 <u>0.6</u> 9. 電子レンジ <u>0.3</u> 10. 電話（固定電話・携帯電話を含む） <u>1.4</u> 11. 世帯専用のお風呂 <u>0.3</u> 12. 世帯人数分のベッドまたは布団 <u>3.0</u> 13. 急な出費のための貯金（5万円以上） <u>11.6</u> 14. あてはまるものはない <u>79.0</u> 1～14のうち少なくとも1つ <u>15.6</u>
--	--

(4) 次の費用のうち、過去1年間に経済的理由のために支払いができなかったことはありますか。

あてはまるものがあれば、すべて選んでください。

1. 学校・保育園・幼稚園の遠足や修学旅行の参加費 <u>0.9%</u> 2. 学校の課外授業への参加費・交通費 <u>0.3</u> 3. 学校や保育園の給食費 <u>1.5</u> 4. 家賃 <u>1.9</u> 5. 住宅ローン <u>0.9</u> 6. 電気代 <u>2.3</u> 7. ガス代 <u>2.1</u>	8. 水道代 <u>2.0</u> 9. 電話代（固定電話・携帯電話を含む） <u>2.1</u> 10. 公的年金・公的健康保険・公的介護保険の保険料支払い <u>6.5</u> 11. 通勤や通学に使うバスや電車の料金 <u>0.4</u> 12. あてはまるものはない <u>85.6</u> 1～12のうち少なくとも1つ <u>9.1</u>
---	---

問 14 お子さんのお母さん、お父さんの現在の就業状況について、あてはまる番号をひとつ選んでください。

現在、育児休業などで休業中の方は、復職する時の仕事の番号を選んでください。

お母さん、お父さんがご不在の場合は空欄としてください。

お母さん	お父さん
1. 勤め（常勤・正規職員） <u>19.3%</u>	1. 勤め（常勤・正規職員） <u>79.3%</u>
2. 勤め（パート・アルバイト・非正規職員） <u>37.6</u>	2. 勤め（パート・アルバイト・非正規職員） <u>2.7</u>
3. 自営業・家業 <u>4.9</u>	3. 自営業・家業 <u>14.6</u>
4. 内職 <u>1.9</u>	4. 内職 <u>0</u>
5. その他の職業 <u>0.7</u>	5. その他の職業 <u>0.4</u>
6. 仕事をしていない <u>34.2</u>	6. 仕事をしていない <u>1.1</u>
回答なし <u>1.5</u>	回答なし <u>1.8</u>

(ア) 仕事を探している 6.1
 仕事を探していない（家事専業） 25.4
 仕事を探していない（その他学生など） 0.9

(ア) 仕事を探している 0.6
 仕事を探していない（家事専業） 0.2
 仕事を探していない（その他学生など） 0.1

(イ)上の質問で【1. 勤め（常勤・正規職員）】【2. 勤め（パート・アルバイト・非正規職員）】【3. 自営業・家業】【4. 内職】【5. その他の職業】を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお母さん、お父さんのふだんの帰宅時間で、最も多い時間帯を選んでください。

自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間を記入して下さい。

お母さん	お父さん
18 時まで <u>39.9%</u>	18 時まで <u>7.1%</u>
18～20 時まで <u>11.5</u>	18～20 時まで <u>23.0</u>
20～22 時まで <u>1.2</u>	20～22 時まで <u>24.3</u>
22 時以降（早朝帰宅も含む） <u>1.1</u>	22 時以降（早朝帰宅も含む） <u>18.1</u>
交替制勤務で帰宅時間は決まっていない <u>2.2</u>	交替制勤務で帰宅時間は決まっていない <u>5.6</u>
残業などで帰宅時間は決まっていない <u>1.1</u>	残業などで帰宅時間は決まっていない <u>14.4</u>
就業なし、回答なし <u>43.0</u>	就業なし、回答なし <u>7.5</u>

問 15 この質問票に回答されているあなたを含めた、お子さんとご家族との関係についてうかがいます。

(1) あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない	回答なし
(ア) お子さんの勉強をみる	1 <u>79.9%</u>	2 <u>9.9</u>	3 <u>6.6</u>	4 <u>1.3</u>	5 <u>1.2</u>	<u>1.0</u>
(イ) お子さんとからだを動かして遊ぶ	1 <u>7.1%</u>	2 <u>10.4</u>	3 <u>43.4</u>	4 <u>24.1</u>	5 <u>13.9</u>	<u>1.1</u>
(ウ) お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ (テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど)	1 <u>3.4%</u>	2 <u>6.5</u>	3 <u>17.6</u>	4 <u>16.9</u>	5 <u>54.3</u>	<u>1.2</u>
(エ) お子さんとカードゲーム、ごっこ遊びなどで遊ぶ (トランプ・ブロック遊び・オセロ・人形遊びなど)	1 <u>4.0%</u>	2 <u>9.6</u>	3 <u>30.3</u>	4 <u>36.2</u>	5 <u>18.5</u>	<u>1.4</u>
(オ) お子さんと学校生活の話をする	1 <u>80.9%</u>	2 <u>12.3</u>	3 <u>4.1</u>	4 <u>0.7</u>	5 <u>0.6</u>	<u>1.5</u>
(カ) お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする	1 <u>8.4%</u>	2 <u>11.5</u>	3 <u>20.3</u>	4 <u>16.8</u>	5 <u>41.4</u>	<u>1.6</u>
(キ) お子さんとテレビ番組(ニュースをのぞく)の話をする	1 <u>34.0%</u>	2 <u>28.6</u>	3 <u>21.7</u>	4 <u>7.8</u>	5 <u>6.2</u>	<u>1.6</u>
(ク) お子さんといっしょに料理をする	1 <u>1.6%</u>	2 <u>4.9</u>	3 <u>19.6</u>	4 <u>41.2</u>	5 <u>31.0</u>	<u>1.6</u>
(ケ) お子さんといっしょに外出をする	1 <u>14.6%</u>	2 <u>25.4</u>	3 <u>51.2</u>	4 <u>7.4</u>	5 <u>0.3</u>	<u>1.1</u>

(2) あなたのご家庭では、お子さんに次のようなことをすることがありますか。

	しばしばある	ときどきある	たまにある	まったくない	回答なし
(ア) からだ(尻・手・頭・顔など)をたたく	1 <u>8.4%</u>	2 <u>16.8</u>	3 <u>49.2</u>	4 <u>24.1</u>	<u>1.4</u>
(イ) 大声でしかる	1 <u>28.7%</u>	2 <u>31.3</u>	3 <u>33.7</u>	4 <u>5.0</u>	<u>1.3</u>
(ウ) なぐる	1 <u>0.5%</u>	2 <u>1.0</u>	3 <u>5.1</u>	4 <u>92.1</u>	<u>1.4</u>
(エ) 屋外に締め出す	1 <u>0.2%</u>	2 <u>0.3</u>	3 <u>10.2</u>	4 <u>87.8</u>	<u>1.4</u>
(オ) 無視する	1 <u>0.5%</u>	2 <u>2.5</u>	3 <u>22.1</u>	4 <u>73.5</u>	<u>1.4</u>
(カ) 食事を与えない	1 <u>0.1%</u>	2 <u>0</u>	3 <u>0.8</u>	4 <u>97.8</u>	<u>1.3</u>

(キ) 子どもが傷つくようなことをくり返し言う	1 <u>0.8%</u>	2 <u>2.7</u>	3 <u>24.2</u>	4 <u>70.8</u>	<u>1.5</u>
(ク) 夜間、子どもだけ残して外出する	1 <u>0.1%</u>	2 <u>0.2</u>	3 <u>2.9</u>	4 <u>95.3</u>	<u>1.4</u>
(ケ) 子どもの目の前で大げんかをする	1 <u>0.9%</u>	2 <u>2.4</u>	3 <u>25.3</u>	4 <u>69.7</u>	<u>1.7</u>

問 16 この質問票に回答されている方の社会的なつながりや、^{せいしんてきけんこうど}精神的健康度についてうかがいます。

(1) あなた自身は、現在の住所にお住まいになって通算何年になりますか。

途中で別の住所に住んでいた期間がある場合、その期間はのぞく合計でお答えください。 _____年_____か月

平均年数 8年

(2) あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。あてはまる点数ひとつを選んでください。

たいへん幸せ	幸せでない
10点---9点---8点---7点---6点---5点---4点---3点---2点---1点	

平均点数 8.0

(3) あなたは、あなたの住む地域（同じ町内会くらいの^{はんい}範囲）の人々について、どのように思いますか。

	そう 思う	そう 思う どちら かと	どちら とも いえ ない	ど ち ら か と 思 わ な い	ど ち ら か と 思 わ な い	回 答 な し
(ア) この地域の人々は信頼できる	1 <u>11.5%</u>	2 <u>41.9</u>	3 <u>38.6</u>	4 <u>3.1</u>	5 <u>3.4</u>	<u>1.5</u>
(イ) この地域の人々は結束が強い	1 <u>7.3%</u>	2 <u>29.0</u>	3 <u>51.7</u>	4 <u>5.7</u>	5 <u>4.9</u>	<u>1.5</u>
(ウ) この地域の人々は喜んで近所の人を手助けする	1 <u>7.3%</u>	2 <u>31.7</u>	3 <u>49.1</u>	4 <u>5.4</u>	5 <u>4.9</u>	<u>1.6</u>

(4) 次のそれぞれの質問について過去1か月の間はどのようであったか、あてはまる番号をひとつ選んでください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない	回答なし
(ア) ^{しんけいかびん} 神経過敏に感じましたか	1 <u>3.0%</u>	2 <u>5.2%</u>	3 <u>22.1%</u>	4 <u>21.1%</u>	5 <u>46.8%</u>	<u>1.8%</u>
(イ) ^{ぜつぱうてき} 絶望的だと感じましたか	1 <u>1.0%</u>	2 <u>2.1%</u>	3 <u>7.5%</u>	4 <u>12.8%</u>	5 <u>75.0%</u>	<u>1.7%</u>
(ウ) そわそわしたり、落ちつきなく感じましたか	1 <u>0.9%</u>	2 <u>1.9%</u>	3 <u>10.3%</u>	4 <u>20.0%</u>	5 <u>65.3%</u>	<u>1.6%</u>
(エ) ^{しず} 気分が沈みこんで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1 <u>1.5%</u>	2 <u>2.7%</u>	3 <u>13.6%</u>	4 <u>23.0%</u>	5 <u>57.7%</u>	<u>1.6%</u>
(オ) ^{ほねお} 何をするのも骨折りだと感じましたか	1 <u>1.1%</u>	2 <u>2.8%</u>	3 <u>10.0%</u>	4 <u>21.7%</u>	5 <u>62.6%</u>	<u>1.7%</u>
(カ) ^{かち} 自分は価値のない人間だと感じましたか	1 <u>1.6%</u>	2 <u>2.3%</u>	3 <u>7.6%</u>	4 <u>13.6%</u>	5 <u>73.2%</u>	<u>1.7%</u>

(5) あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。

1. いる	2. いない
<u>92.8%</u>	<u>5.7</u>

回答なし 1.5

(ア)上の質問で【1. いる】と答えた方にお聞きします。←

それは誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてを選んでください。

はいぐうしゃ 配偶者・パートナー <u>69.7%</u> 自分の親 <u>64.0</u> はいぐうしゃ 配偶者・パートナーの親 <u>15.5</u> しんせき きょうだい・その他の親戚 <u>30.8</u> きんりん 近隣に住む知人や友人 <u>39.7</u> きんりん 近隣に住んでいない知人や友人 <u>27.1</u> しよくばかんけいしゃ 職場関係者 <u>16.1</u>	学校の先生やスクールカウンセラー <u>6.2</u> がくどうほいく しどういん 学童保育の指導員 <u>1.6</u> きかん ふくしじむしょ 公的機関や福祉事務所の相談員 <u>2.3</u> そうだん 民間のカウンセラー・電話相談 <u>0.9</u> いりようきかん 医療機関の医師や看護師 <u>3.1</u> インターネットのサイト <u>2.0</u> その他 <u>1.7</u>
--	---

問 17 あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について、あてはまるものをひとつ選んでください。

答えに自信がなくても、すべての質問に答えてください。

	あてはまる	まああてはまる	あてはまらない	回答なし
(1) 他人の気持ちをよく気づかう	1 <u>36.4%</u>	2 <u>55.3%</u>	3 <u>6.9%</u>	<u>1.4%</u>
(2) おちつきがなく、長い間じっとしてられない	1 <u>14.7%</u>	2 <u>34.8%</u>	3 <u>48.9%</u>	<u>1.6%</u>
(3) 頭がいたい、おなかがいたい、きもちが悪いなどと、よくうったえる	1 <u>4.4%</u>	2 <u>17.0%</u>	3 <u>77.1%</u>	<u>1.6%</u>
(4) 他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）	1 <u>38.8%</u>	2 <u>51.9%</u>	3 <u>7.6%</u>	<u>1.6%</u>
(5) カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	1 <u>13.1%</u>	2 <u>37.6%</u>	3 <u>47.7%</u>	<u>1.6%</u>
(6) 一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	1 <u>7.0%</u>	2 <u>27.8%</u>	3 <u>63.6%</u>	<u>1.5%</u>
(7) すなお 素直で、だいたい大人のいうことをよくきく	1 <u>32.5%</u>	2 <u>53.4%</u>	3 <u>12.7%</u>	<u>1.4%</u>
(8) 心配ごとが多く、いつも不安なようだ	1 <u>2.8%</u>	2 <u>16.3%</u>	3 <u>79.5%</u>	<u>1.4%</u>
(9) 誰かが心を痛めていたり、おちこんでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1 <u>30.3%</u>	2 <u>57.4%</u>	3 <u>10.8%</u>	<u>1.5%</u>
(10) いつもそわそわしたり、もじもじしている	1 <u>3.9%</u>	2 <u>16.0%</u>	3 <u>78.4%</u>	<u>1.7%</u>

(11) 仲のよい友だちが少なくとも一人はいる	1 <u>80.2%</u>	2 <u>13.7%</u>	3 <u>4.5%</u>	<u>1.6%</u>
(12) よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	1 <u>1.5%</u>	2 <u>12.1%</u>	3 <u>84.8%</u>	<u>1.6%</u>
(13) おちこんでしずんでいたたり、 ^{なみだ} 涙ぐんでいたたりすることがよくある	1 <u>3.4%</u>	2 <u>18.2%</u>	3 <u>76.9%</u>	<u>1.5%</u>
(14) 他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ	1 <u>47.2%</u>	2 <u>48.5%</u>	3 <u>2.8%</u>	<u>1.5%</u>
(15) すぐに気が散 ^ち りやすく、注意を ^{しゅうちゅう} 集中できない	1 <u>16.2%</u>	2 <u>40.4%</u>	3 <u>41.8%</u>	<u>1.6%</u>
(16) ^{めあたら} 目新しい場面に ^{ちよくめん} 直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	1 <u>11.5%</u>	2 <u>35.5%</u>	3 <u>51.3%</u>	<u>1.7%</u>
(17) 年下の子どもたちに対してやさしい	1 <u>59.2%</u>	2 <u>35.2%</u>	3 <u>4.1%</u>	<u>1.5%</u>
(18) よく大人に対して口答えする	1 <u>15.3%</u>	2 <u>43.1%</u>	3 <u>40.1%</u>	<u>1.5%</u>
(19) 他の子から、いじめの ^{たいしやう} 対象にされたり、からかわれたりする	1 <u>3.9%</u>	2 <u>20.7%</u>	3 <u>73.7%</u>	<u>1.7%</u>
(20) 自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	1 <u>35.0%</u>	2 <u>51.5%</u>	3 <u>11.9%</u>	<u>1.6%</u>
(21) よく考えてから ^{こうどう} 行動することができる	1 <u>17.5%</u>	2 <u>55.7%</u>	3 <u>25.3%</u>	<u>1.5%</u>
(22) 他の人に対していじわるをする	1 <u>1.2%</u>	2 <u>10.1%</u>	3 <u>87.1%</u>	<u>1.6%</u>
(23) 他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	1 <u>7.0%</u>	2 <u>23.9%</u>	3 <u>67.6%</u>	<u>1.6%</u>
(24) こわがりで、すぐにおびえたりする	1 <u>13.4%</u>	2 <u>34.7%</u>	3 <u>50.3%</u>	<u>1.5%</u>
(25) ものごとを最後までやりとげ、 ^{しゅうちゅうりよく} 集中力もある	1 <u>26.6%</u>	2 <u>54.3%</u>	3 <u>17.5%</u>	<u>1.7%</u>

^{しつもん}質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

最後にもう一度、記入されていない項目がないかどうかご確認^{かくにん}のうえ、

お早^{どうふう}めに同封の提出^{ていしゅつ}用封筒^{ふうとう}に入れ封をしたうえで学校にご提出^{ていしゅつ}ください。

今後ともご協力をお願いいたします。

子どもの健康・生活実態調査

平成 27 年度 報告書

平成 2 8 年 4 月発行

発行 足立区・足立区教育委員会

編集 足立区 衛生部 こころとからだの健康づくり課

東京都足立区中央本町 1 - 1 7 - 1

電話 0 3 - 3 8 8 0 - 5 4 3 3

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
研究所 社会医学研究部

東京都世田谷区大蔵 2 - 1 0 - 1

電話 0 3 - 3 4 1 7 - 2 6 4 7